

2017

# 群馬大学

大学院医学系研究科

大学院保健学研究科

医学部

医学部附属病院

Outline of the Graduate School of Medicine, Graduate School of Health Sciences,  
Faculty of Medicine and University Hospital, Gunma University

概 要

**医学系研究科医科学専攻博士課程**

○入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）  
～このような人を求めています～

**<人材育成の目標>**

医の科学（Science）、倫理（Ethics）、技能（Skill）の探求とそれらの統合による医学の研究と教育の推進並びに医学と医療をリードする人材の育成を目指しています。

**<入学者に求める能力・資質>**

本専攻の課程で学び研究を行うために必要な学力・能力を備えた、次のような人を受け入れます。

1. 先端的な生命科学研究や医学研究を通して、人類や社会の発展に貢献する意欲のある人
2. 高い倫理観と卓越した臨床能力を持つ医療人として、人類や社会の発展に貢献する意欲のある人
3. 優れた医師や医療従事者を育成する医学教育者として、人類や社会の発展に貢献する意欲のある人

**<選抜方法>**

本専攻の課程で学び研究を行うために必要な学力・能力を備え、上記の意欲を持つ学生を選抜するために、一般入試の他に、社会人入試を実施します。また、学修機会の拡大のため、10月入学の制度を設けています。入学試験では、学力試験（口頭試験を含む）及び志願者が提出した出身大学等の成績証明書を総合して合否を判定します。

**○教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）～このような教育を行います～**

医科学専攻博士課程では、先端的医学研究の推進と卓越した臨床能力を持つ倫理観豊かな医療人の育成を目指して、次のような教育を行います。

1. 先端的な生命科学研究、及び疾病の原因究明と治療法開発に必要な基礎知識と基本的研究技術を体系的に修得させる教育
2. 医学分野の研究・教育を行う上で必要な倫理的素養を身に付けさせ、社会貢献活動を体得させる教育
3. 主体的に研究を計画・遂行し、それを世界に向けて発信する技法、及び各専門分野で必要とされる高度な専門知識・能力を修

得させる教育

**○学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）～このような人材を育てます～**

修了要件を満たした次のような者に、博士の学位を授与します。

1. 倫理観と使命感を持って、医学・医療・福祉分野で活躍し、国際社会や地域社会に貢献できる者
2. 幅広く豊かな学識に裏打ちされた医科学分野の先端的な研究・教育能力を持つ者
3. 卓越した技能を持ち、疾病の原因究明と治療戦略構築を実践できる者

**医学系研究科生命医科学専攻修士課程****○入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）～このような人を求めています～****<人材育成の目標>**

医の科学（Science）、倫理（Ethics）、技能（Skill）の探求とそれらの統合による医学の研究と教育の推進並びに医学と医療をリードする人材の育成を目指しています。

**<入学者に求める能力・資質>**

本専攻の課程で学び、生命医科学分野の知識と実践力を身に付け、高度専門職業人や研究者を志す人を受け入れます。具体的には、

1. 高い倫理観と豊かな学識に立脚し、自立して研究を行う能力を身に付ける意欲のある人
2. 身に付けた知識や技能を生かし、医学・医療・福祉の分野で高度専門職業人として社会の発展に貢献する意欲のある人
3. 身に付けた知識や技能を更に発展させ、博士課程に進学し、生命医科学分野の研究者・教育者を旨とする人

**<選抜方法>**

本専攻で求める能力・資質に合致した意欲のある学生を選抜するために、一般入試では筆記試験と口述試験を行い、出身大学等の成績と併せて総合して合否を判定します。筆記試験では異なる分野の学生に対応するため、医学・生物学的内容と生物物理学的内容の問題から選択できるようにしています。また、学修機会の拡大のため、10月入学の制度を設けています。

**○教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）～このような教育を行います～**

生命科学研究と医学との融合領域である生命医科学を対象として次のような教育を行います。

1. 生命現象の解明を医学的観点から進めるとともに、病気の診断と治療、さらには健康の増進や生活の質の向上を目指した新しい医療の創出を目指した体系的な教育
2. 生命科学研究・医学・医療の基礎知識・手技及び必要とされる倫理観を修得させた後、研究課題や進路に応じた実践的な専門知識を修得させる教育
3. 研究の立案・遂行・応用に必要な知識と研究成果発表の方法を修得させて修士論文を作成させ、各領域のリーダーにふさわしい能力を育成する教育

**○学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）～このような人材を育てます～**

生命医科学の各領域における教育を受け、高い倫理観と豊かな学識に立脚し、自立して研究を行う能力を身に付け、修了要件を満たした次のような者に、修士の学位を授与します。

1. 生命科学研究・医学・医療・福祉の各領域で活躍できる、専門的知識・高度な技術を修得した者
2. 生命医科学の各研究分野でリーダーシップを発揮して、研究に携わることができる者

**保健学研究科保健学専攻****保健学専攻博士前期課程****入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）～このような人を求めています～****<人材育成の目標>**

1. 全人的医療を理解し、高度な専門知識と技術を有する者
2. 専門分野での教育や研究を実践するための基礎的な能力を有する者
3. 地域の保健医療・福祉専門職として活動が実践できる者
4. 国際的な保健医療・福祉分野の活動が実践できる者

**<入学者に求める能力・資質>**

1. 保健医療・福祉の分野で高度専門職業人として社会に貢献したいと考える人
2. 修了後に保健学専攻博士後期課程に進学し、保健学の教育者・研究者を志す人

**<選抜方法>**

小論文と外国語の学力試験及び口頭試験の結果、並びに志願者が提出した成績証明書及び希望する研究の概要等の出願書類を総合して判定します。なお、小論文は保健、医療一般に関する知識及び思考力を問います。外国語は保健、医療の分野に関する英語の文献を読解する能力を問います。また、一般入試のほかに社会人入試を実施しています。

**○教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）～このような教育を行います～**

保健学専攻博士前期課程では、人材の育成を通じて社会へ貢献するために、次のような教育を行います。

1. 全人的医療を理解し、高度な専門知識と技術を修得させる教育
2. 専門分野での教育や研究を実践するための基礎的な能力を育成する教育
3. 地域の保健医療・福祉専門職として活動が実践できる能力を育成する教育
4. 国際的な保健医療・福祉分野の活動が実践できる能力を育成する教育

**○学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）～このような人材を育てます～**

修了要件を満たした次のような者に修士の学位を授与します。

1. 学部における研究、教育を通して得られた保健学に関する知識・技術・研究基礎能力を更に高め、個人及び集団の健康保持増進や生活の質（QOL）向上のための独創的あるいは学際的な研究を進められる者
2. 幅広い学識と高度な専門性、倫理性を身につけた者





### 保健学専攻博士後期課程

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）  
～このような人を求めています～

#### <人材育成の目標>

1. 保健医療・福祉分野で、独創的あるいは学際的な研究が実践できる者
2. 保健医療・福祉分野で、高度な教育が実践できる者
3. 保健学の高度な専門知識と技術を有し、保健医療・福祉分野での指導者となる者
4. 国際的な保健医療・福祉分野で、指導や教育及び研究が実践できる者

#### <入学者に求める能力・資質>

1. 前期課程レベルの保健医療・福祉に関する専門知識と研究経験を持ち社会に貢献したいと考える人
2. 将来、保健医療・福祉等の分野で高度専門職業人として社会に貢献したいと考える人

#### <選抜方法>

学力試験（外国語（英語））、修士課程修了時の提出論文を含む業績又は第一著者として発表した学術論文を含む業績、口頭試問及び学業成績により総合して判定します。外国語（英語）では英語の文献を読解する能力を問います。また、口頭試問では個別に専門知識及び研究能力に関する試問を行い、研究者又は高度な専門性を有する職業人としての適性及び意欲を審査します。

### 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）～このような教育を行います～

保健学専攻博士後期課程では、人材の育成を通じて社会へ貢献するために、次のような教育を行います。

1. 保健医療・福祉分野で、独創的あるいは学際的な研究が実践できる能力を育成する教育
2. 保健医療・福祉分野で、高度な教育が実践できる能力を育成する教育
3. 保健学の高度な専門知識と技術を有した、保健医療・福祉分野の指導者を育成する教育
4. 国際的な保健医療・福祉分野で、指導や教育及び研究が実践できる能力を育成する教育

### 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）～こ

#### のような人材を育てます～

修了要件を満たした次のような者に博士の学位を授与します。

1. 学部及び大学院保健学専攻博士前期課程における研究、教育を通して得られた保健学に関する知識・技術・研究基礎能力を更に高め、個人及び集団の健康保持増進や生活の質（QOL）向上のための独創的あるいは学際的な研究を進められる者
2. 幅広い学識と高度な専門性、倫理性を身につけた者

### 医学部医学科

#### 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

～このような人を求めています～

医学と医療が自然科学の上に成り立ち、かつ社会の中で人を対象として行われるものであることをふまえ、医学士として、科学的知（Science）、倫理（Ethics）、技能（Skill）の3つの面（SES）にわたって自己研鑽に励むことができる人

1. 豊かな感受性、奉仕の精神を備え、医師としてふさわしい資質を身につけることを目指して、不断の努力を積み重ねられる人
2. 医療、医学研究、医学教育もしくは医療行政などの分野において、社会に貢献することへの志と強い信念を持っている人
3. 本学科の教育内容を理解するために必要な総合的基礎学力を十分に備えている人

#### <入学に際し必要な基礎学力>

特に日常的な学習が十分に行われていることが望ましいのは、国語と英語である。専門科目を学ぶために必要となるのは、数学では、数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・Bであり、理科では、受験科目にかかわらず、物理（物理基礎を含む）、化学（化学基礎を含む）、生物（生物基礎を含む）である。

### 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）～このような教育を行います～

医学と医療が自然科学の上に成り立ち、かつ社会の中で人を対象として行われるものであることを理解し、科学的知（Science）、倫理（Ethics）、技能（Skill）の3つの面（SES）にわたって生涯自己研鑽する力が付く教育

1. 自分をふりかえり他者を思いやる心が育ち、コミュニケーションを通して相互理解を図る態度が身に付く教育
2. 自然科学、医学、医療、人間と社会に関わる知を習得し、それを実践でいかす力が身に付く教育
3. 新たな課題にも対応できる問題解決能力が身に付き、リサーチマインドが育つ教育
4. 生涯にわたって社会貢献と自己研鑽に努める意欲が育つ教育

### 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）～このような人材を育てます～

所定の年限在学し、かつ所定の単位を修得した、次のような者に学士の学位を授与します。

医学と医療が自然科学の上に成り立ち、かつ社会の中で人を対象として行われるものであることを理解し、科学的知（Science）、倫理（Ethics）、技能（Skill）の3つの面（SES）にわたって生涯自己研鑽を続けることができる者

1. 医師にふさわしい倫理観と責任感を有し、医

療チームの中で医師として適切な行動をとることができ、他者と信頼関係を築ける者

2. 医師、医学研究者、医学教育者又は医療行政担当者となるために必要な知識を身に付けるとともに、新たな課題にも対応できる問題解決能力を修得した者
3. 医学知識に裏打ちされた臨床と研究の能力を修得し、患者により良い医療を提供する能力と、医学や医療の発展に貢献する意欲を備えた者

### 医学部保健学科

#### 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー） ～このような人を求めています～

#### <人材育成の目標>

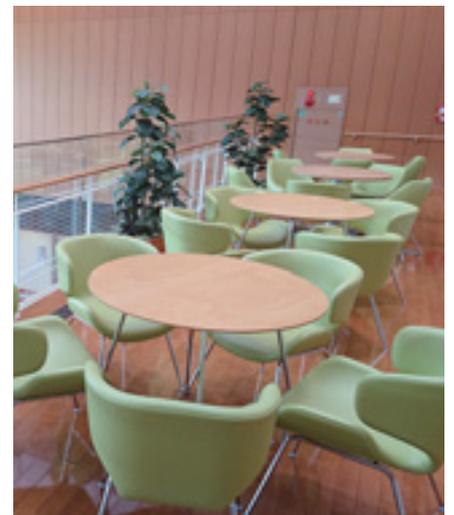
1. 豊かな見識を身に付け、人間の尊厳を尊重し、全人的医療を担う人材を育成します。
2. 本学科での学修を通して、学士（看護学・保健学）に求められる知識、技能、態度、創造的思考力を身に付けた人材を育成します。
3. 将来に向け自らを向上させていく意欲と自己開発力を持ち、地域や国際社会での保健医療の諸課題に広く対応できる人材を育成します。
4. 保健医療の現場においてチーム医療を担う人材を育成します。
5. 看護師・助産師・保健師、臨床検査技師・細胞検査士、理学療法士、作業療法士となることを通じて、高度化・専門化する保健医療専門職の次世代のリーダーや教育・研究者を育成します。

#### <入学者に求める能力・資質>

1. 柔軟な発想、みずみずしい感性、高い意欲を持っていること。
2. 他者とのコミュニケーションが円滑にできること。
3. 理系課題に対して、論理的な思考を行い、他人に説明できること。
4. 文系課題に対して、自らの考えを交えて要約して他人に説明できること。
5. 英文課題に対して、自らの考えと併せて他人に説明できること。

#### <入学に際し必要な基礎学力>

1. 各入学選抜の出願要件に定める科目につ



いて履修又は履修見込みであること。

#### 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）～このような教育を行います～

知性と行動力を備えた人間性豊かな保健医療人材の育成を目指し、次のような教育を行います。

1. 全人的医療の担い手としての人間性の涵養と、専攻分野に必要な基礎力の育成を図る教育
2. 専門教育では基礎から臨床に亘る階層的知識の積み上げを図るとともに、先端の保健医療の学習にも配慮する教育
3. 保健医療の担い手としての主体的思考・行動力と豊かな感性を持つ人材育成を図る教育
4. チーム医療の担い手としての意識と、そこで必要な能力の育成を図る教育
5. 保健医療の諸課題に対応できる地域的視点と国際的視野を持つ人材育成を図る教育

#### 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）～このような人材を育てます～

所定の年限在学し、かつ所定の単位を修得し、各専攻のディプロマ・ポリシーが規定する学識と能力を持つ次のような者に学士の学位を授与します。

1. 保健医療の中核を担う専門職業人となるために必要な知識と技術を備え、人間の尊厳を尊ぶ心を持つ者
2. 保健医療の担い手として、将来に向け自らを向上させてゆく意欲と自己開発力を持つ者
3. チーム医療を担う自覚を有し、関係する人々との相互理解と円滑な協働関係が築ける者
4. 保健医療の諸課題に対し、多面的視点からの柔軟な思考、的確な判断と対応ができる者

#### 看護学専攻

##### 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）～このような人を求めています～

##### <人材育成の目標>

1. 豊かな見識を身に付け、人間の尊厳を尊重し、全人的医療を担う人材を育成します。
2. 本学科での学習を通して、学士（看護学）



に求められる知識、技能、態度、創造的思考力を身に付けた人材を育成します。

3. 将来に向け自らを向上させていく意欲と自己開発力を持ち、地域や国際社会での保健医療の諸課題に広く対応できる人材を育成します。
4. 保健医療の現場においてチーム医療を担う人材を育成します。
5. 看護師・助産師・保健師となることを通じて、高度化・専門化する保健医療専門職の次世代のリーダーや教育・研究者を育成します。

##### <入学者に求める能力・資質>

1. 柔軟な発想、みずみずしい感性、高い意欲を持っていること。
2. 他者とのコミュニケーションが円滑にできること。
3. 理系課題に対して、論理的な思考を行い、他人に説明できること。
4. 文系課題に対して、自らの考えを交えて要約して他人に説明できること。
5. 英文課題に対して、自らの考えと併せて他人に説明できること。

##### <入学に際し必要な基礎学力>

1. 各入学者選抜の出願要件に定める科目について履修又は履修見込みであること。

#### 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）～このような教育を行います～

##### <教育の目標>

1. 全人的医療の担い手として必要な基礎力を身に付けられる教育
2. 基礎的学力「知識、技能、態度、創造的思考力」を身に付けられる教育
3. 保健医療の担い手として、将来に向け自らを向上させていく意欲と自己開発力を身に付けられる教育
4. チーム医療の担い手としての意識と能力を身に付けられる教育
5. 地域的視点と国際的視野の両方を持ち保健医療の諸課題に広く対応できる能力を身に付けられる教育
6. 看護師国家試験を受験できる知識と技術を身に付けられる教育
7. 助産師及び保健師コース受講者については、助産師及び保健師国家試験受験に必要な知識と技術を身に付けられる教育

##### <教育課程の構成>

1. 初年次を中心に編成された、教養基盤科目、教養育成科目、学部別科目からなる教養教育により、いろいろな考え方を学ぶことで、看護専門職のバックグラウンドとしての基礎的素養を身に付ける教育を展開する。
2. 専門基礎・支持的科目では、保健医療の基礎・在り方を学ぶことで、看護専門科目を学び、実践していくための素養を身に付ける教育を展開する。
3. 教養教育及び専門・基礎支持的科目を基盤として、専攻の教育目標を達成するための専門教育をカリキュラムマップに則って系統的に行う。

具体的には、専門科目では、

- I. 看護学の基礎を学ぶ。
- II. 対象や場に応じた看護学を学ぶ。
- III. I, IIを発展・統合する。

という形式で、講義・演習・実験・実習を行い、専門分野での実践力を養う。

##### <教育内容・方法>

1. 学生の主体的・能動的な参加に基づいた講義・演習・実験・実習の各教科
2. シラバスに詳述されたカリキュラムを構成する授業科目の目標・内容・教育方法・評価方法等に基づいた授業の展開
3. シラバス記載の目標の達成に向けた、講義時間外の自己学習（予習・復習）の督促
4. 実践力を養うための臨地実習の実施

##### <学修成果の評価>

学修成果の評価は、各科目についてはシラバス記載の成績（達成度）評価基準に基づいて行い、学則に従いS, A, B, C, Dの5段階での判定とこれを基にしたGPAの決定を行う。

#### 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）～このような人材を育てます～

##### <学位授与の条件・達成度・能力評価の基準>

1. 所定の年限在籍し、かつ看護学専攻に定められた単位を修得した者
2. 看護師に必要な知識と技術を備え、高い倫理観を持つ者
3. 助産師及び保健師コース受講者については、助産師及び保健師に必要な知識と技術を修得した者

##### <学修成果の目標>

保健医療・福祉におけるチームの中で看護の専門性を発揮し、ケアの調整やマネジメントにリーダーシップを発揮でき、さらに、国際化の進展に対応して世界の看護に視野を広げ、国際看護協力が実践できる人材になること。

具体的には、

1. 全人的医療を理解し、実践するための能力を身に付けていること。
2. 医療の基礎となる、人間と生活・社会の理解や論理的・科学的思考を高める学問などについて修得していること。
3. 看護学分野での研究に必要な手法及び思考法の基礎を修得していること。
4. 看護学の対象となる人間のライフサイクル、人間理解を深める心理学・社会学の基礎理論や看護過程の方法論などの専門的知識と、看護実践能力を修得していること。
5. チーム医療を担う一員であることを認識しながら、看護活動の場の拡大に対応した看護実践能力を修得していること。
6. 国際的な視野を持ちながら、国や地域レベルの健康課題の解決とシステムづくりに関わる、看護実践能力を修得していること。
7. 助産師・保健師コースでは助産師・保健師に必要な知識と技術を修得していること。

#### 検査技術科学専攻

##### 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）～このような人を求めています～

##### <人材育成の目標>

1. 豊かな見識を身に付け、人間の尊厳を尊重し、全人的医療を担う人材を育成します。
2. 本学科での学習を通して、学士（保健学）に求められる知識、技能、態度、創造的思考力を身に付けた人材を育成します。
3. 将来に向け自らを向上させていく意欲と自

己開発力を持ち、地域や国際社会での保健医療の諸課題に広く対応できる人材を育成します。

- 保健医療の現場においてチーム医療を担う人材を育成します。
- 臨床検査技師・細胞検査士となることを通じて、高度化・専門化する保健医療専門職の次世代のリーダーや教育・研究者を育成します。

#### <入学者に求める能力・資質>

- 柔軟な発想、みずみずしい感性、高い意欲を持っていること。
- 他者とのコミュニケーションが円滑にできること。
- 理系課題に対して、論理的な思考を行い、他人に説明できること。
- 文系課題に対して、自らの考えを交えて要約して他人に説明できること。
- 英文課題に対して、自らの考えと併せて他人に説明できること。

#### <入学に際し必要な基礎学力>

- 各入学者選抜の出願要件に定める科目について履修又は履修見込みであること。

#### 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）～このような教育を行います～

##### <教育の目標>

- 全人的医療の担い手として必要な基礎力を身に付けられる教育
- 基礎的学士力〔知識、技能、態度、創造的思考力〕を身に付けられる教育
- 保健医療の担い手として、将来に向け自らを向上させていく意欲と自己開発力を身に付けられる教育
- チーム医療の担い手としての意識と能力を身に付けられる教育
- 地域的視点と国際的視野の両方を持ち保健医療の諸課題に広く対応できる能力を身に付けられる教育
- 臨床検査技師国家試験を受験できる知識と技術を身に付けられる教育
- 細胞検査士養成コース受講者については、細胞検査士資格試験受験に必要な知識と技術を身に付けられる教育

##### <教育課程の構成>

- 初年次を中心に編成された、教養基盤科目、教養育成科目、学部別科目からなる教養教育、また専門科目への円滑な移行のための専門基礎・支持的科目により、全人的医療やチーム医療など保健医療従事者としての基礎的素養を身に付ける教育を展開する。
- これを基盤として、専攻の教育目標を達成するための専門教育をカリキュラムマップに則って系統的に行う。学んだ知識を実際の場面で応用できる技術・方法の修得のため、実習、臨地実習、演習を重視し、専門分野での実践力を養う。

##### <教育内容・方法>

- 学生の主体的・能動的な参加に基づいた講義・演習・実験・実習の各教科
- シラバスに詳述されたカリキュラムを構成する授業科目の目標・内容・教育方法・評価方法等に基づいた授業の展開
- シラバス記載の目標の達成に向けた、講義

時間外の自己学習（予習・復習）の督励

#### 4. 実践力を養うための臨地実習の実施

##### <学修成果の評価>

学修成果の評価は、各科目についてはシラバス記載の成績（達成度）評価基準に基づいて行い、学則に従いS、A、B、C、Dの5段階での判定とこれを基にしたGPAの決定を行う。

#### 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）～このような人材を育てます～

##### <学位授与の条件・達成度・能力評価の基準>

- 所定の年限在籍し、かつ検査技術科学専攻に定められた単位を修得した者
- 臨床検査技師に必要な知識と技術を備え、高い倫理観を持つ者
- 細胞検査士養成コース受講者については、細胞検査士に必要な知識と技術を修得した者

##### <学修成果の目標>

保健医療及び医療の基礎となる生命現象に対する知識・理論を理解し、検査技術科学分野の専門的知識と技術及び実践的応用能力を身につけていること。

具体的には、

- 全人的医療を理解し、実践するための能力を身に付けていること。
- 医療の基礎となる化学、生物学、物理学、生理学、生化学、解剖学などについて、その基礎を修得していること。
- 検査技術科学分野の新たな発展に必要な研究手法及び研究的思考法の基礎を修得していること。
- 臨床検査技師に必要な検体検査、生理機能検査、病気の早期発見のための検査、遺伝子検査、画像解析などの基礎的・専門的知識と技術を修得していること。
- チーム医療の重要性を理解し、実践するための能力を身につけていること。
- 国際コミュニケーションスキルと地域・国際社会の保健医療のあり方の基礎を修得していること。
- 細胞検査士養成コースでは細胞検査士に必要な知識と技術を修得していること。

#### 理学療法学専攻

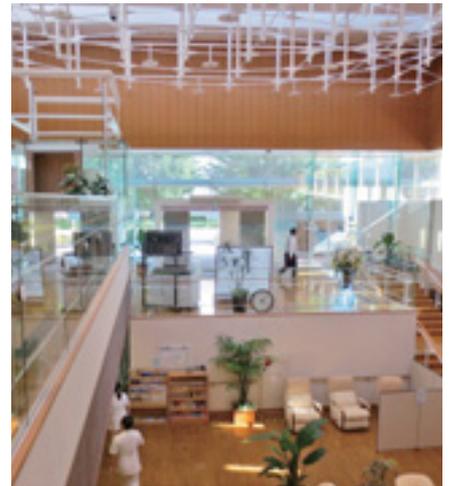
#### 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）～このような人を求めています～

##### <人材育成の目標>

- 豊かな見識を身に付け、人間の尊厳を尊重し、全人的医療を担う人材を育成します。
- 本学科での学習を通して、学士（保健学）に求められる知識、技能、態度、創造的思考力を身に付けた人材を育成します。
- 将来に向け自らを向上させていく意欲と自己開発力を持ち、地域や国際社会での保健医療の諸課題に広く対応できる人材を育成します。
- 保健医療の現場においてチーム医療を担う人材を育成します。
- 理学療法士となることを通じて、高度化・専門化する保健医療専門職の次世代のリーダーや教育・研究者を育成します。

##### <入学者に求める能力・資質>

- 柔軟な発想、みずみずしい感性、高い意欲



を持っていること。

- 他者とのコミュニケーションが円滑にできること。
- 理系課題に対して、論理的な思考を行い、他人に説明できること。
- 文系課題に対して、自らの考えを交えて要約して他人に説明できること。
- 英文課題に対して、自らの考えと併せて他人に説明できること。

#### <入学に際し必要な基礎学力>

- 各入学者選抜の出願要件に定める科目について履修又は履修見込みであること。

#### 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）～このような教育を行います～

##### <教育の目標>

- 全人的医療の担い手として必要な基礎力を身に付けられる教育
- 基礎的学士力〔知識、技能、態度、創造的思考力〕を身に付けられる教育
- 保健医療の担い手として、将来に向け自らを向上させていく意欲と自己開発力を身につけられる教育
- チーム医療の担い手としての意識と能力を身に付けられる教育
- 地域的視点と国際的視野の両方を持ち保健医療の諸課題に広く対応できる能力を身に付けられる教育
- 理学療法士国家試験を受験できる知識と技術を身に付けられる教育

##### <教育課程の構成>

- 初年次を中心に編成された、教養基盤科目、教養育成科目、学部別科目からなる教養教育、また専門科目への円滑な移行のための専門基礎・支持的科目により、全人的医療やチーム医療など保健医療従事者としての基礎的素養を身につける教育を展開する。
- これを基盤として、専攻の教育目標を達成するための専門教育をカリキュラムマップに則って系統的に行う。学んだ知識を実際の場面で応用できる技術・方法の修得のため、実習、臨地実習、演習を重視し、専門分野での実践力を養う。

##### <教育内容・方法>

- 学生の主体的・能動的な参加に基づいた講義・演習・実験・実習の各教科

- シラバスに詳述されたカリキュラムを構成する授業科目の目標・内容・教育方法・評価方法等に基づいた授業の展開
- シラバス記載の目標の達成に向けた、講義時間外の自己学習（予習・復習）の督励
- 実践力を養うための臨地実習の実施

#### <学修成果の評価>

学修成果の評価は、各科目についてはシラバス記載の成績（達成度）評価基準に基づいて行い、学則に従いS、A、B、C、Dの5段階での判定とこれを基にしたGPAの決定を行う。

#### 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）～このような人材を育てます～

##### <学位授与の条件・達成度・能力評価の基準>

- 所定の年限在籍し、かつ理学療法学専攻に定められた単位を修得した者
- 理学療法士に必要な知識と技術を備え、高い倫理観を持つ者

##### <学修成果の目標>

保健医療の基礎知識・理念を理解し、理学療法学分野の専門的知識と技術及び実践の応用能力を身につけていること。

具体的には、

- 全人的医療を理解し、実践するための能力を身につけていること。
- 医療の基礎となる化学、生物学、物理学、生理学、解剖学などについて、その基礎を修得していること。
- 理学療法学分野での新しい理論や治療技術の研究・開発力の基礎を修得していること。
- 理学療法理念を理解し、障害に対する評価方法と、その障害に対する運動療法、物理療法、生活環境支援などの介入方法の基礎的知識と技術を修得していること。
- チーム医療の重要性を理解し、実践するための能力を身につけていること。
- 国際コミュニケーションスキルと地域・国際社会の保健医療のあり方の基礎を修得していること。

#### 作業療法学専攻

#### 入学受入方針（アドミッション・ポリシー）～このような人を求めています～

##### <人材育成の目標>

- 豊かな見識を身に付け、人間の尊厳を尊重し、全人的医療を担う人材を育成します。
- 本学科での学習を通して、学士（保健学）に求められる知識、技能、態度、創造的思考力を身に付けた人材を育成します。
- 将来に向け自らを向上させていく意欲と自己開発力を持ち、地域や国際社会での保健医療の諸課題に広く対応できる人材を育成します。
- 保健医療の現場においてチーム医療を担う人材を育成します。
- 作業療法士となることを通じて、高度化・専門化する保健医療専門職の次世代のリーダーや教育・研究者を育成します。

##### <入学者に求める能力・資質>

- 柔軟な発想、みずみずしい感性、高い意欲を持っていること。
- 他者とのコミュニケーションが円滑にできること。
- 理系課題に対して、論理的な思考を行い、他人に説明できること。
- 文系課題に対して、自らの考えを交えて要約して他人に説明できること。
- 英文課題に対して、自らの考えと併せて他人に説明できること。

##### <入学に際し必要な基礎学力>

- 各入学者選抜の出願要件に定める科目について履修又は履修見込みであること。

#### 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）～このような教育を行います～

##### <教育の目標>

- 全人的医療の担い手として必要な基礎力を身につけられる教育
- 基礎的学力「知識、技能、態度、創造的思考力」を身につけられる教育
- 保健医療の担い手として、将来に向け自らを向上させていく意欲と自己開発力を身につけられる教育
- チーム医療の担い手としての意識と能力を身につけられる教育
- 地域的視点と国際的視野の両方を持ち保健医療の諸課題に広く対応できる能力を身につけられる教育
- 作業療法士国家試験を受験できる知識と技術を身につけられる教育

##### <教育課程の構成>

- 初年次を中心に編成された、教養基盤科目、教養育成科目、学部別科目からなる教養教育、また専門科目への円滑な移行のための専門基礎・支持的科目により、全人的医療やチーム医療など保健医療従事者としての基礎的素養を身につける教育を展開する。
- これを基盤として、専攻の教育目標を達成するための専門教育をカリキュラムマップに則って系統的に行う。学んだ知識を実際の場面で応用できる技術・方法の修得のため、実習、臨地実習、演習を重視し、専門分野での実践力を養う。

##### <教育内容・方法>

- 学生の主体的・能動的な参加に基づいた講義・演習・実験・実習の各教科
- シラバスに詳述された、カリキュラムを構成する授業科目の目標・内容・教育方法・

- 評価方法等に基づいた授業の展開
- シラバス記載の目標の達成に向けた、講義時間外の自己学習（予習・復習）の督励
- 実践力を養うための臨地実習の実施

##### <学修成果の評価>

学修成果の評価は、各科目についてはシラバス記載の成績（達成度）評価基準に基づいて行い、学則に従いS、A、B、C、Dの5段階での判定とこれを基にしたGPAの決定を行う。

#### 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）～このような人材を育てます～

##### <学位授与の条件・達成度・能力評価の基準>

- 所定の年限在籍し、かつ作業療法学専攻に定められた単位を修得した者
- 作業療法士に必要な知識と技術を備え、高い倫理観を持つ者

##### <学修成果の目標>

保健医療福祉における病気や障害に関する医学・保健学の知識に加え、人体の構造やメカニズムを理解し、作業療法分野の専門的知識と技術及び実践の応用能力を身につけていること。

具体的には、

- 全人的医療を理解し、実践するための能力を身につけていること。
- 医療の基礎となる化学、生物学、物理学、生理学、解剖学などについて、その基礎を修得していること。
- 作業療法学分野の新たな発展に必要な研究手法及び研究的思考法の基礎を修得していること。
- 作業療法士に必要な作業療法の理論、身体障害、発達障害、高齢期障害、精神障害などの専門的知識と実践応用能力を習得していること。
- チーム医療の重要性を理解し、実践するための能力を身につけていること。
- 国際コミュニケーションスキルと地域・国際社会の保健医療のあり方の基礎を修得していること。

#### 教育の特長

#### アウトカム基盤型の 医学教育を行っています。

卒業時に目指す学生の姿として「SESについて生涯自己研鑽を続けることができる学生」を掲げています。SESはScience、Ethics、Skillの頭文字で、それぞれ「科学的知、倫理、技能」をあらわしています。SESの理念のもとに、卒業時に身につけておくべき医師として重要な力（アウトカム）を8つ設定しました。①自己省察力、②知識の獲得と知識を応用する力、③コミュニケーション能力、④チーム医療の中で協働する力、⑤基本的な総合診察能力、⑥地域医療の向上に貢献する能力、⑦医学研究を遂行する能力、⑧自己研鑽。これらのアウトカムを6年間のカリキュラムで身につける、アウトカム基盤型の医学教育を行っています。



# 目次

Contents

1	沿革 History	1
2	組織図 Organization	9
3	職員 Staff	21
	(1) 役職員 Administrative Staff	21
	(2) 職員数 Number of Staff Members	28
4	医学系研究科・保健学研究科・医学部 Graduate School of Medicine, Graduate School of Health Sciences, Faculty of Medicine	29
	(1) 学生定員及び現員数 Number of Students	29
	(2) 卒業者及び修了者数 Number of Graduates	29
	(3) 学位授与者数 Number of Graduate Degrees Conferred	30
	(4) 図書・雑誌 Books and Journals	30
	(5) 解剖体数 Number of Autopsies	30
5	附属病院 University Hospital	31
	(1) 病床数 Number of Hospital Beds	31
	(2) 患者数 Number of Patients	32
	(3) 地域別入院患者調べ Number of Inpatients Divided by Districts	33
	(4) 臨床検査件数 Number of Clinical Laboratory Tests	34
	(5) 重粒子線治療件数 Number of Heavy Ion Therapy	34
	(6) 放射線検査数及び治療件数 Number of Radiologic Examinations and Radiotherapies	35
	(7) 薬剤部業務件数 Number of Pharmacist works	36
	(8) 分娩件数及び出産児数 Number of Deliveries	36
	(9) 手術件数 Number of Surgical Operations	36
	(10) 医療機関の承認・指定・届出等の状況 Legal Authorization of Medical Services	37
6	土地・建物 Land and Buildings	42
7	建物配置図 Campus Map	43
8	所在地略図 Location Map	44



昭和18年4月	前橋医学専門学校設置 前橋医学専門学校の附属施設として附属病院を設置
昭和19年3月	群馬県より組合病院の提供を受け開院，内科，外科，小児科，精神神経科，皮膚泌尿器科， 整形外科，産婦人科，眼科，耳鼻咽喉科及び口腔外科を置く
4月	附属病院に看護婦養成所を開設
昭和21年11月	群馬県より新病棟，2棟の寄附を受け，内科ほか3科及び薬局を移転 新病棟を本院，旧病院を分院と呼称
昭和23年2月	前橋医科大学設置，附属病院を附属病院と改称
昭和24年5月	国立学校設置法施行により前橋医科大学は群馬大学医学部となる
昭和26年3月	前橋医学専門学校附属看護婦養成所が廃止され，群馬大学医学部附属看護学校と改称
4月	内分泌研究施設を新設，第一部門臓器化学部を設置
8月	内分泌研究施設建物竣工
昭和27年4月	解剖学第二講座，内分泌研究施設第二部門形態機能部を設置 草津分院を設置，内科を置く
昭和28年4月	生理学第二講座を設置
6月	病理学第二講座，内科学第二講座を設置，附属病院に第二内科を設置
8月	内分泌研究施設第三部門生物実験部を設置
昭和29年4月	外科学第二講座増設，附属病院に第二外科を設置
昭和30年4月	草津分院に外科を設置 国立学校設置法の一部改正により，大学院医学研究科（博士課程）を設置
昭和32年4月	内分泌研究施設第四部門効果検定部を設置
昭和33年3月	附属病院第二病棟竣工
4月	放射線医学講座を設置
昭和34年4月	附属病院に放射線科を設置 附属病院外来本館の一部竣工
昭和35年4月	附属病院外来棟の増築部分竣工
5月	草津分院に産科婦人科を設置
昭和36年4月	泌尿器科学講座を設置，附属病院泌尿器科が皮膚泌尿器科より分離独立
12月	附属病院口腔外科を歯科と改称
昭和37年3月	附属病院中央診療棟（中央手術部，中央放射線部）竣工
4月	附属病院薬局を薬剤部と改称，附属病院に総看護婦長を置く
昭和37年6月	伊香保分室内科診療開始
昭和38年4月	医学部附属内分泌研究施設は，群馬大学附属研究所（内分泌研究所）となる
6月	医化学講座を生化学講座と改称
昭和39年4月	麻酔学講座を設置
10月	附属病院事務部に部制がしかれ，管理課及び業務課を設置
昭和40年3月	附属病院東第一病棟竣工
4月	附属行動医学研究施設を新設，第一部門行動生理学を設置 附属助産婦学校を設置 附属病院に麻酔科，脳神経外科を設置

- 1943 Apr. Maebashi Medical College established.  
The Attached Clinic of Maebashi Medical College established.
- 1944 Mar. Gunma Prefecture provided society hospital. Clinical Departments of Internal Medicine, Surgery, Neuropsychiatry, Dermatology and Urology, Orthopedic Surgery, Obstetrics and Gynecology, Ophthalmology, Otolaryngology, and Oral Surgery established.
- Apr. School of Nurse Training established in the Attached Clinic.
- 1946 Nov. Four new departments and Drug Center transferred to the new two ward.  
New ward named Main Hospital, and old ward named Branch Hospital.
- 1948 Feb. Maebashi College of Medical Science established. Attached clinic renamed University Hospital.
- 1949 May. Gunma University School of Medicine established.
- 1951 Mar. School of Nurse Training of attached clinic renamed School of Nursing of Faculty Medicine.
- Apr. Laboratory of Endocrinology opened. The First Section, Chemical Organ Division established.
- Aug. Laboratory of Endocrinology Building completed.
- 1952 Apr. Department of Anatomy II, and The Second Section, Functional Morphology Division of Laboratory of Endocrinology established.  
Kusatsu Branch of University Hospital opened, Clinical Department of Internal Medicine established.
- 1953 Apr. Physiology II established.
- Jun. Departments of Pathology II, and Internal Medicine II, and Clinical Department of Internal Medicine II of University Hospital established.
- Aug. The Third Section, Biological Experiment Division of Laboratory of Endocrinology established.
- 1954 Apr. Departments of Surgery II, and Surgery II of University Hospital established.
- 1955 Apr. Clinical Department of Surgery of Kusatsu Branch of University Hospital established. Graduate School of Medical Science (Doctor's Program) established.
- 1957 Apr. The Fourth Section, Sanction Effect Division of Laboratory of Endocrinology established.
- 1958 Mar. Ward No.2 of University Hospital completed.
- Apr. Department of Radiology and Radiation Oncology established.
- 1959 Apr. Clinical Department of Radiology of University Hospital established.  
Part of Surgery Building of University Hospital established.
- 1960 Apr. Enlargement part of Outpatients Building of University Hospital established.
- May. Clinical Department of Obstetrics and Gynecology of Kusatsu Branch of University Hospital established.
- 1961 Apr. Department of Urology established. Clinical Department of Dermatology and Urology divided into two Departments of University Hospital.
- Dec. Clinical Department of Oral Surgery of University Hospital renamed Clinical Department of Dentistry.
- 1962 Mar. The Central Building for Diagnosis and Treatment of University Hospital (Surgical Operation Center, and Diagnostic Radiology) completed.
- Apr. Drug Center of University Hospital renamed Department of Pharmacy. General Head Nurse of University Hospital established.
- 1962 Jun. Clinical Department of Internal Medicine of Ikaho Branch of University Hospital opened.
- 1963 Apr. Laboratory of Endocrinology changed to Institute of Endocrinology.
- Jun. Department of Medical Chemistry renamed Department of Biochemistry.
- 1964 Apr. Anesthesiology established.
- Oct. Department of in the administrative section of University Hospital were established Administration Division and Operations Division.
- 1965 Mar. East Ward No.1 of University Hospital completed.
- Apr. Behavior Research Institute opened, Department of Behavior and Physiology established.  
School of Midwifery established.  
Clinical Departments of Anesthesiology, and Neurosurgery of University Hospital established.

昭和41年3月	基礎医学棟竣工
4月	附属衛生検査技師学校を設置 寄生虫学講座を設置 附属病院に中央検査部を設置
11月	附属病院外来棟（増築部分）、病棟及び中央検査棟竣工
昭和42年3月	附属病院管理棟竣工
4月	附属行動医学研究施設に第二部門脳神経外科学を設置 附属病院に輸血部を設置
昭和44年5月	附属病院超高圧放射線治療室竣工
6月	臨床研究棟竣工
昭和45年4月	草津分院にリハビリテーション施設を設置
11月	附属病院看護婦宿舎竣工
昭和46年3月	附属病院高圧酸素治療室竣工
昭和47年3月	草津分院建物竣工 学生食堂竣工
4月	内科学第三講座を増設，附属行動医学研究施設に第三部門行動分析学を設置 附属病院に第三内科，分娩部を設置 附属衛生検査技師学校を附属臨床検査技師学校と改称
昭和48年4月	附属リハビリテーション医学研究施設を新設，第一部門物理医学を設置 附属動物実験施設を新設，附属病院に中央材料部を設置 草津分院のリハビリテーション施設をリハビリテーション部と改称
12月	附属学校校舎竣工
昭和49年3月	附属病院西第三病棟，基幹棟竣工
4月	附属病院に中央放射線部を設置
昭和50年10月	附属病院に内分泌内科，神経内科を設置，歯科を歯科口腔外科と改称
昭和51年4月	附属病院に看護部を設置
昭和52年3月	臨床講堂竣工
4月	附属病院事務部が総務課・管理課・医事課の3課制となる
昭和53年4月	附属薬剤耐性菌実験施設を設置
昭和54年10月	附属病院に集中治療部を設置
昭和55年2月	附属病院中央手術棟（手術部，集中治療部，材料部）竣工
昭和55年4月	口腔外科学講座を設置 昭和52年10月医療技術短期大学部開学に伴い，附属看護学校廃止
昭和56年3月	附属動物実験施設棟竣工 附属病院中央放射線部（核医学診療部門）棟竣工
4月	昭和52年10月医療技術短期大学部開学に伴い，附属臨床検査技師学校廃止
昭和57年4月	医療技術短期大学部専攻科助産学特別専攻設置に伴い，附属助産婦学校廃止
7月	伊香保分室を廃止
昭和58年3月	附属病院医用サイクロトン棟竣工 体育館，課外活動施設竣工
昭和59年4月	核医学講座を設置
9月	附属病院放射線診療棟竣工

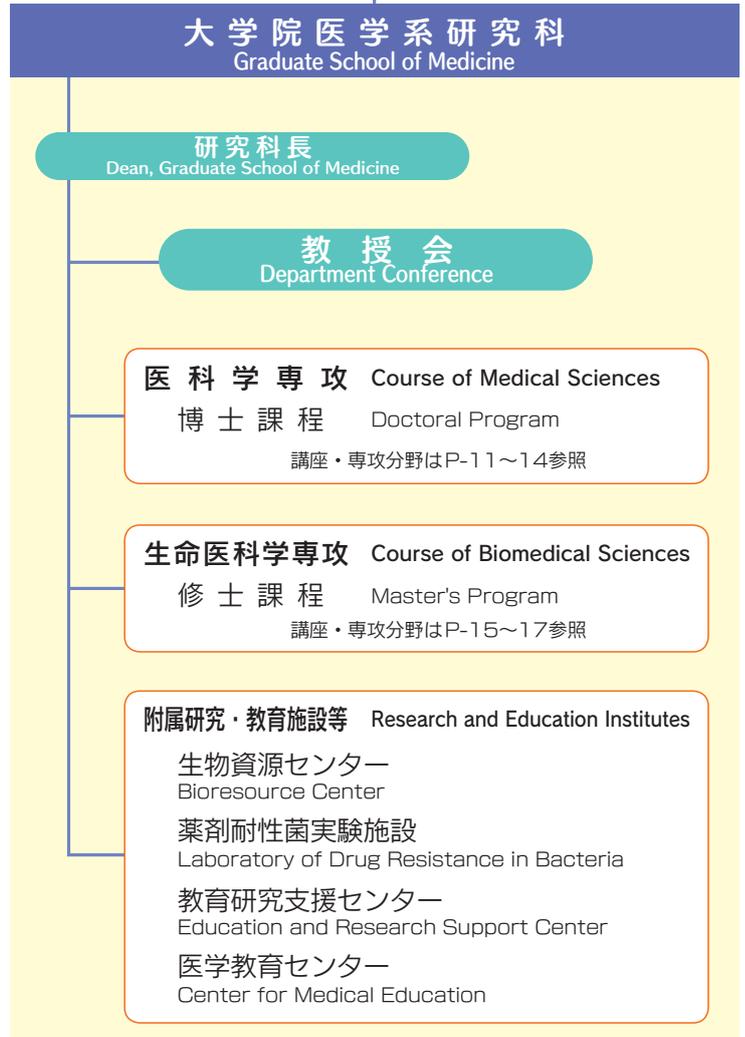
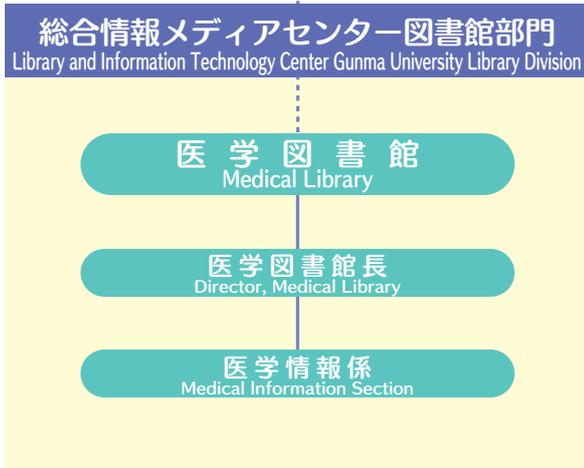
1966 Mar.	Basic Medicine Building completed.
Apr.	School of Health Investigation established. Department of Parasitology established. Center of Clinical Laboratory of University Hospital established.
Nov.	Outpatients Building (enlarge part), Ward and Clinical Laboratory Building of University Hospital completed.
1967 Mar.	Administration Building of University Hospital completed.
Apr.	Department of Neurosurgery of Behavior Research Institute established. Blood Transfusion Service of University Hospital established.
1969 May.	High Energy Irradiation Radiation Care Unit of University Hospital established. Clinical Research Center Building completed.
1970 Apr.	Institute of Rehabilitation of Kusatsu Branch of University Hospital established.
Nov.	Residence for Nurses of University Hospital completed.
1971 Mar.	Hyperbaric Oxygen Therapy Unit of University Hospital completed.
1972 Mar.	Building of Kusatsu Branch of University Hospital completed. Welfare Facilities completed.
Apr.	Department of Internal Medicine III established. Department of Neurobiology and Behavior of Behavior Research Institute established. Clinical Departments of Internal Medicine III, and Maternal Delivery Unit of University Hospital established. School of Health Investigation renamed School of Clinical Investigation.
1973 Apr.	Institute of Rehabilitation Medicine opened, Department of Physical Medicine established. Institute of Experimental Animal Research established. Center of Medical Supplies of University Hospital established. Institute of Rehabilitation of Kusatsu Branch of University Hospital renamed Clinical Department of Rehabilitation.
Dec.	Attached School Building completed.
1974 Mar.	West Ward No.3, Power Station of University Hospital completed.
Apr.	Center of Diagnostic Radiology of University Hospital established.
1975 Oct.	Clinical Departments of Endocrinology, and Neurology of University Hospital established. Clinical Department of Dentistry renamed Clinical Department of Dentistry and Oral Surgery.
1976 Apr.	Division of Nursing of University Hospital established.
1977 Mar.	Lecture Building for Clinical Medicine completed.
Apr.	In conjunction with an administrative reorganization of the hospital the management was arranged into Departments of General Affairs, Administration Affairs, and Medical Affairs.
1978 Apr.	Laboratory of Drug Resistance in Bacteria established.
1979 Oct.	Intensive Care Unit of University Hospital established.
1980 Feb.	Surgical Operation Center Building (Surgical Operation Center, Intensive Care Unit, and Center of Medical Supplies) of University Hospital completed.
1980 Apr.	Department of Oral Surgery established. School of Nursing abolished.
1981 Mar.	Institute of Experimental Animal Research Building completed. Diagnostic Radiology Building (Clinical Department Nuclear Medicine) of University Hospital completed.
Apr.	School of Clinical Investigation abolished.
1982 Apr.	School of Midwifery abolished.
Jul.	Ikaho Branch of University Hospital abolished.
1983 Mar.	Cyclotron Building of University Hospital completed. Gymnasium, Facilities for Extracurricular Activities completed.
1984 Apr.	Department of Nuclear Medicine established.
Sep.	Diagnostic Radiology Building of University Hospital completed.

昭和62年3月	臨床研究棟（B棟）竣工
5月	麻酔学講座を麻酔・蘇生学講座と改称 附属病院に救急部を設置
6月	附属病院外来診療棟竣工
昭和63年3月	中央機械室竣工
4月	分子病態学講座を設置
12月	寄附講座（神経精神薬理学（ツムラ）講座）を設置
平成元年2月	附属病院MRI-CT装置棟竣工
5月	附属病院に病理部を設置，附属病院麻酔科を麻酔科蘇生科と改称 医学部事務部及び附属病院事務部を統合し，医学部事務部（総務課，管理課，学務課，医事課）となる
平成2年6月	臨床検査医学講座を設置，附属病院に核医学科を設置，南病棟・診療棟竣工
平成3年12月	寄附講座（神経精神薬理学（ツムラ）講座）を更新
平成4年3月	医学部RI研究棟竣工
4月	附属病院の分娩部を改組し，周産母子センターを設置
平成5年10月	医学基礎講座を設置 附属図書館医学分館竣工
平成6年12月	寄附講座（神経精神薬理学（ツムラ）講座）を更新
平成7年3月	特定機能病院の名称承認
4月	救急医学講座を設置
平成8年10月	保健学科設置に伴い，医学部は2学科（医学科，保健学科）となる
平成9年4月	附属病院に医療情報部を設置
12月	寄附講座（神経精神薬理学（ツムラ）講座）を更新
平成10年4月	臨床薬理学講座を設置 附属病院に総合診療部を設置
平成11年4月	附属リハビリテーション医学研究施設を廃止し，神経内科学講座を設置
平成12年3月	医療技術短期大学の廃止
4月	附属病院に光学医療診療部を設置
12月	寄附講座（神経精神薬理学（ツムラ）講座）が終了
平成13年4月	大学院医学系研究科に保健学専攻（修士課程）を設置 附属病院に臨床試験部を設置
平成13年6月	北病棟竣工
平成14年3月	草津分院を閉院
4月	寄附講座（統合和漢診療学（ツムラ））を設置 附属病院の診療科を臓器別・機能別の6系大診療科に編成 リハビリテーション部を設置 医療サービス室を設置
平成15年4月	大学院医学系研究科博士課程の生理学系，病理学系，社会医学系，内科学系及び外科学系5専攻を医科学専攻に改組 大学院医学系研究科に保健学専攻博士（後期）課程を設置 医学部附属行動医学研究施設を廃止 医学部附属動物実験施設及び医学部附属薬剤耐性菌実験施設を大学院医学系研究科附属に改める 附属病院に感染制御部を設置
7月	寄附講座（バイオイメーキング情報解析学（DRL））を設置

1987 Mar.	Clinical Research Center Building (B Building) completed.
May.	Department of Anesthesiology renamed Department of Anesthesiology and Reanimatology. Clinical Department of Emergency Medicine of University Hospital established.
Jun.	Outpatients Building of University Hospital completed.
1988 Mar.	Power Supply Center completed.
Apr.	Department of Molecular and Cellular Neurobiology established.
Dec.	Endowed Department (Neuropsychopharmacology(Tsumura))established.
1989 Feb.	MRI-CT Building of University Hospital completed.
May.	Clinical Department of Pathology of University Hospital established. Clinical Department of Anesthesiology of University Hospital renamed Clinical Department of Anesthesiology and Reanimatology. The Administrative sections of the School of Medicine and of the University Hospital were organized into one system, with divisions of General Affairs, Administration, Educational Affairs, and Medical Affairs.
1990 Jun.	Department of Laboratory Medicine established. Clinical Department of Diagnostic Radiology and Nuclear Medicine of University Hospital established. South Ward, Examination Building completed.
1991 Dec.	Endowed Department (Neuropsychopharmacology(Tsumura)) renewed.
1992 Mar.	Radioisotope Research Building completed.
Apr.	Maternal Delivery Unit of University Hospital renamed Maternity and Perinatal Care Center.
1993 Oct.	Department of Medical Liberal Arts established. Branch Library of Medicine completed.
1994 Dec.	Endowed Department (Neuropsychopharmacology (Tsumura)) renewed.
1995 Mar.	The University Hospital received certification as a Special Functioning Hospital.
Apr.	Department of Emergency Medicine established.
1996 Oct.	School of Health Sciences opened, making the number of School 2.
1997 Apr.	Department of Medical Informatics of University Hospital established.
Dec.	Endowed Department (Neuropsychopharmacology (Tsumura)) renewed.
1998 Apr.	Department of Clinical Pharmacology and Therapeutics established. Department of General Medicine established.
1999 Apr.	Institute of Rehabilitation Medicine abolished, Department of Neurology established.
2000 Mar.	College of Medical Care and Technology abolished.
Apr.	Department of Endoscopy and Endoscopic Surgery of University Hospital established.
Dec.	Endowed Department (Neuropsychopharmacology (Tsumura)) abolished.
2001 Apr.	A master degree course with a major in Health Sciences was established in the Graduate School of Medical Sciences. Department of Clinical Investigation and Research Unit established.
2001 Jun.	North Ward completed.
2002 Mar.	The Kusatsu branch of the University Hospital abolished.
Apr.	Endowed Department (Integrated Japanese Oriental Medicine (Tsumura))established. The department of medical examination is composed to the department of 6 system large medical examination according to - function classified by internal organs. Rehabilitation Service of University Hospital established. Division of Medical Service Affairs established.
2003 Apr.	Course of Medical Sciences established in the Graduate School of Medicine. A doctor degree course established in Course of Health Sciences in the Graduate School of Medicine. Behavior Research Institute abolished. Institute of Experimental Animal Research and Laboratory of Drug Resistance in Bacteria transferred to the Graduate School of Medicine. Infection Control and Prevention Center of University Hospital established.
Jul.	Endowed Department (Bioimaging Information Analysis (DRL)) established.

平成16年 1月 4月	日本医療機能評価機構の病院機能評価認定病院となる 国立大学法人群馬大学となる 経営企画室を設置
平成17年 4月	医学部事務部及び生体調節研究所事務部を統合し、昭和地区事務部（総務課，学務課，経営企画課，管理運営課，医療サービス課）となる 寄附講座（統合和漢診療学（ツムラ））を更新
7月	寄附講座（バイオイメーキング情報解析学（DRL））を更新
平成18年 4月	石井ホール竣工 患者用立体駐車場竣工 重粒子線医学推進課を設置
8月	中央診療棟竣工
12月	腫瘍センターを設置
平成19年 4月	院内保育所を設置 大学院医学系研究科に生命医学専攻（修士課程）を設置
7月	寄附講座（バイオイメーキング情報解析学（富士フィルムRIファーマ））を更新
8月	寄附講座（分子画像学）を設置
平成20年 4月	医療人能力開発センターを設置 寄附講座（統合和漢診療学（ツムラ））を更新
7月	オートプシー・イメーキングセンターを設置
平成21年 4月	患者支援センターを設置
6月	重粒子線医学センターを設置
平成22年 3月 4月	寄附講座（統合和漢診療学（ツムラ））が終了 診療支援部門を設置 救命・総合医療センターを設置
11月	寄附研究部門（地域医療推進研究部門（群馬県））を設置 肝疾患センターを設置 認知症疾患医療センターを設置
平成23年 3月	大学院医学系研究科保健学専攻を廃止 重粒子線医学推進課を廃止
平成23年 4月	大学院保健学研究科を設置
平成24年 4月	星野富弘先生の作品展示室の設置
平成25年 3月	医療情報部を廃止
4月	システム統合センターを設置
6月	トランスレーショナルリサーチセンターを設置 東棟竣工
8月	寄附講座（がん治療臨床開発学）を設置
平成26年 4月	附属動物実験施設を附属生物資源センターに改称 医療サービス課を医事課に改称
12月	保険診療管理センターを設置 医療安全管理部を医療の質・安全管理部に改称
平成27年 4月	内科・外科を臓器別に編成し、内科診療センター・外科診療センターを設置 コンプライアンス推進室を設置
平成28年 4月	群馬県の救命救急センターとなる 附属病院に形成外科を設置 医療の質・安全管理部が診療支援部門から分離独立 群馬県がん診療連携中核病院となる
12月	コンプライアンス推進室を廃止
平成29年 4月	大学院医学系研究科の講座を再編 大学院医学系研究科に医療の質・安全学講座を設置 トランスレーショナルリサーチセンターを廃止し、先端医療開発センターを設置 地域医療研究・教育センター設置準備室を設置

2004 Jan.	The University Hospital became an evaluated and authorized hospital of Japan Council for Quality Healthcare.
Apr.	Gunma University became the National University Corporation. Division of Management Planning established.
2005 Apr.	The Administration Department of the School of Medicine of the Institute for Molecular and Cellular Regulation were organized into one system, with offices of General Affairs, Educational Affairs, Management Planning, Administration and Management, and Medical Service Affairs. Endowed Department (Integrated Japanese Oriental Medicine (Tsumura)) renewed.
Jul.	Endowed Department (Bioimaging Information Analysis (DRL)) renewed.
2006 Apr.	Ishii Hall completed. Multi-level Car Parking Tower completed. Heavy Ion Medicine Promotion Office established.
Aug.	Center Examination Building completed.
Dec.	Oncology Center of University Hospital established.
2007 Apr.	Nursery School established. Course of Biomedical Sciences established in the Graduate School of Medicine.
Jul.	Endowed Department (Bioimaging Information Analysis (FUJIFILM RI Pharma)) renewed.
Aug.	Endowed Department (Molecular Imaging) established.
2008 Apr.	Medical Education Center established. Endowed Department (Integrated Japanese Oriental Medicine (Tsumura)) renewed.
Jul.	Autopsy Imaging Center established.
2009 Apr.	Patients-Support and Community-Service Center established.
Jun.	Heavy Ion Medical Center established.
2010 Mar.	Endowed Department (Integrated Japanese Oriental Medicine (Tsumura)) abolished.
Apr.	Department of Medical Support established. Critical and Primary Care Center established. Division of Community Medicine established.
Nov.	Center for Liver Disease, Gunma University Hospital established. Medical Center for Dementia established.
2011 Mar.	Course of Health Sciences in Graduate school of Medicine abolished. Heavy Ion Medicine Promotion Office abolished.
2011 Apr.	Graduate school of Health Sciences established.
2012 Apr.	Tomihiro Art Exhibition room established.
2013 Mar.	Medical Informatics and Decision Sciences abolished.
Apr.	System Integration Center established.
Jun.	Translational Research Center established. East Building completed.
Aug.	Endowed Department (Oncology Clinical Development) established.
2014 Apr.	Institute of Experimental Animal Research renamed Bioresource Center. Medical service Affairs Division renamed Medical Affairs Division.
Dec.	Management Center of Medical Services under Health Insurance established. Medical Security and Safety Management Center renamed Quality and Safety in Healthcare Management Center.
2015 Apr.	Clinical Department of Internal Medicine I,II,III and Surgery I,II are composed to Clinical Division by each organ. Integrative Center of Internal Medicine and Integrative Center of General Surgery established. Division of Compliance established.
2016 Apr.	The University Hospital became an Emergency Medical Center of Gunma Prefecture. Plastic and Reconstructive Surgery Established. Quality and Safety in Healthcare Management Center became independent from Department of Medical Support. The University Hospital appointed as a Gunma cancer medical treatment cooperation core hospital.
Dec.	Division of Compliance abolished.
2017 Apr.	Courses of Graduate School of Medicine reorganized. Department of Quality and Safety in Healthcare established in Graduate School of Medicine. Translational Research Center abolished. Innovative Medical Research Center established. Center for Regional Medical Research and Education established.



## 群馬大学 Gunma University



## 医学部 Faculty of Medicine



## 学部長 Dean

## 教授会 Department Conference



医学系研究科医科学専攻 Course of Medical Sciences Graduate school of Medicine



基礎・基盤医学領域 Basic Medical Sciences

機能形態学講座 Anatomy

機能形態学分野 Anatomy

生体構造学講座 Anatomy and Cell Biology

生体構造学分野 Anatomy and Cell Biology

分子細胞生物学講座 Molecular and Cellular Neurobiology

分子細胞生物学分野 Molecular and Cellular Neurobiology

生化学講座 Biochemistry

生化学分野 Biochemistry

応用生理学講座 Integrative Physiology

応用生理学分野 Integrative Physiology

脳神経再生医学講座 Neurophysiology and Neural Repair

脳神経再生医学分野 Neurophysiology and Neural Repair

神経薬理学講座 Neurobiology and Behavior

神経薬理学分野 Neurobiology and Behavior

遺伝発達行動学講座 Genetic and Behavioral Neuroscience

遺伝発達行動学分野 Genetic and Behavioral Neuroscience

病態腫瘍薬理学講座 Molecular Pharmacology and Oncology

病態腫瘍薬理学分野 Molecular Pharmacology and Oncology

細菌学講座 Bacteriology

細菌学分野 Bacteriology

国際寄生虫病学講座 Parasitology

国際寄生虫病学分野 Parasitology

公衆衛生学講座 Public Health

公衆衛生学分野 Public Health

法医学講座 Legal Medicine

法医学分野 Legal Medicine

医学哲学・倫理学講座 Medical Philosophy and Ethics

医学哲学・倫理学分野 Medical Philosophy and Ethics



## 臨床医学領域 Clinical Sciences

### 内科学講座 Internal Medicine

循環器内科学分野	Cardiovascular Medicine
呼吸器・アレルギー内科学分野	Allergy and Respiratory Medicine
消化器・肝臓内科学分野	Gastroenterology and Hepatology
内分泌代謝内科学分野	Endocrinology and Metabolism
腎臓・リウマチ内科学分野	Nephrology and Rheumatology
血液内科学分野	Hematology
脳神経内科学分野	Neurology

### 総合外科学講座 General Surgical Science

循環器外科学分野	Cardiovascular Surgery
呼吸器外科学分野	General Thoracic Surgery
消化管外科学分野	Gastroenterological Surgery
乳腺・内分泌外科学分野	Breast and Endocrine Surgery
肝胆膵外科学分野	Hepato Biliary and Pancreatic Surgery
小児外科学分野	Pediatric Surgery

### 腫瘍放射線学講座 Radiation Oncology

腫瘍放射線学分野	Radiation Oncology
----------	--------------------

### 放射線診断核医学講座 Diagnostic Radiology and Nuclear Medicine

放射線診断核医学分野	Diagnostic Radiology and Nuclear Medicine
------------	---

### 神経精神医学講座 Psychiatry and Neuroscience

神経精神医学分野	Psychiatry and Neuroscience
----------	-----------------------------

### 麻酔神経科学講座 Anesthesiology

麻酔神経科学分野	Anesthesiology
----------	----------------

### 救急医学講座 Emergency Medicine

救急医学分野	Emergency Medicine
--------	--------------------

### 総合医療学講座 General Medicine

総合医療学分野	General Medicine
---------	------------------

### リハビリテーション医学講座 Rehabilitation Medicine

リハビリテーション医学分野	Rehabilitation Medicine
---------------	-------------------------

### 臨床検査医学講座 Clinical Laboratory Medicine

臨床検査医学分野	Clinical Laboratory Medicine
----------	------------------------------

### 病態病理学講座 Human Pathology

病態病理学分野	Human Pathology
---------	-----------------



## 臨床医学領域 Clinical Sciences

### 病理診断学講座 Diagnostic Pathology

病理診断学分野 Diagnostic Pathology

### 小児科学講座 Pediatrics

小児科学分野 Pediatrics

### 産科婦人科学講座 Obstetrics and Gynecology

産科婦人科学分野 Obstetrics and Gynecology

### 泌尿器科学講座 Urology

泌尿器科学分野 Urology

### 脳神経外科学講座 Neurosurgery

脳神経外科学分野 Neurosurgery

### 眼科学講座 Ophthalmology

眼科学分野 Ophthalmology

### 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座 Otolaryngology-Head and Neck Surgery

耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野 Otolaryngology-Head and Neck Surgery

### 皮膚科学講座 Dermatology

皮膚科学分野 Dermatology

### 形成外科学講座 Plastic Surgery

形成外科学分野 Plastic Surgery

### 整形外科科学講座 Orthopaedic Surgery

整形外科科学分野 Orthopaedic Surgery

### 臨床薬理学講座 Clinical Pharmacology and Therapeutics

臨床薬理学分野 Clinical Pharmacology and Therapeutics

### 口腔顎顔面外科学講座 Oral and Maxillofacial Surgery

口腔顎顔面外科学分野 Oral and Maxillofacial Surgery

### 医療の質・安全学講座 Quality and Safety in Healthcare

医療の質・安全学分野 Quality and Safety in Healthcare



## 協力講座・連携講座 Cooperating and Coordinating Laboratories

**臨床試験学講座 Clinical Trials and Regulatory Science**  
(医学部附属病院協力講座) (Cooperating Chair with Gunma University Hospital)

臨床試験学分野 Clinical Trials and Regulatory Science

**情報医療学講座 Medical Informatics**  
(医学部附属病院協力講座) (Cooperating Chair with Gunma University Hospital)

情報医療学分野 Medical Informatics

**高次細胞機能解析学講座 Cell Regulation**  
(生体調節研究所協力講座) (Cooperating Chair with Institute for Molecular and Cellular Regulation, Gunma University)

細胞構造分野 Molecular Traffic  
脳病態制御分野 Medical Neuroscience  
分泌制御分野 Secretion Biology  
生体膜機能分野 Molecular Membrane Biology  
個体統御システム分野 Integrated Signaling Systems

**代謝・内分泌学講座 Metabolism and Endocrinology**  
(生体調節研究所協力講座) (Cooperating Chair with Institute for Molecular and Cellular Regulation, Gunma University)

遺伝生化学分野 Molecular Endocrinology and Metabolism  
分子糖代謝制御分野 Developmental Biology and Metabolism  
代謝シグナル解析分野 Metabolic Signal  
代謝エピジェネティクス分野 Epigenetics and Metabolism

**遺伝情報・発現学講座 Genome Regulation**  
(生体調節研究所協力講座) (Cooperating Chair with Institute for Molecular and Cellular Regulation, Gunma University)

遺伝子情報分野 Molecular Genetics  
ゲノム科学リソース分野 Genome Sciences

**重粒子線医学講座 Heavy Ion Medicine**  
(重粒子線医学研究センター協力講座) (Cooperating Chair with Gunma University Heavy Ion Medical Center)

重粒子線医学物理・生物学分野 Medical Physics and Biology for Ion Therapy  
重粒子線臨床医学分野 Heavy Ion Clinical Medicine

**病態情報解析学講座 Bioinformatics**  
(ビッグデータ統合解析センター協力講座) (Cooperating Chair with Big Data Center for Integrative Analysis, Gunma University)

生体情報統合解析学分野 Informatics and Integrative Analysis

**生体機能解析学講座 Quantum Biology**  
(高崎量子応用研究所連携講座) (Coordinating Chair with Takasaki Advanced Radiation Research Institute)

生体機能解析学分野 Quantum Biology



## 寄附講座 Endowed Laboratories

**がん治療臨床開発学講座 Oncology Clinical Development**

**バイオイメージング情報解析学講座 Bioimaging Information Analysis**

**分子画像学講座 Molecular Imaging**

医学系研究科生命医科学専攻 Course of Biomedical Sciences Graduate School of Medicine

生命医科学専攻  
Course of Biomedical Sciences

専攻長  
Dean

基礎・基盤医学領域 Basic Medical Sciences

機能形態学講座 Anatomy

機能形態学分野 Anatomy

生体構造学講座 Anatomy and Cell Biology

生体構造学分野 Anatomy and Cell Biology

分子細胞生物学講座 Molecular and Cellular Neurobiology

分子細胞生物学分野 Molecular and Cellular Neurobiology

生化学講座 Biochemistry

生化学分野 Biochemistry

応用生理学講座 Integrative Physiology

応用生理学分野 Integrative Physiology

脳神経再生医学講座 Neurophysiology and Neural Repair

脳神経再生医学分野 Neurophysiology and Neural Repair

神経薬理学講座 Neurobiology and Behavior

神経薬理学分野 Neurobiology and Behavior

遺伝発達行動学講座 Genetic and Behavioral Neuroscience

遺伝発達行動学分野 Genetic and Behavioral Neuroscience

病態腫瘍薬理学講座 Molecular Pharmacology and Oncology

病態腫瘍薬理学分野 Molecular Pharmacology and Oncology

細菌学講座 Bacteriology

細菌学分野 Bacteriology

国際寄生虫病学講座 Parasitology

国際寄生虫病学分野 Parasitology

公衆衛生学講座 Public Health

公衆衛生学分野 Public Health

法医学講座 Legal Medicine

法医学分野 Legal Medicine

医学哲学・倫理学講座 Medical Philosophy and Ethics

医学哲学・倫理学分野 Medical Philosophy and Ethics

## 臨床医学領域 Clinical Sciences

### 内科学講座 Internal Medicine

循環器内科学分野 Cardiovascular Medicine  
 内分泌代謝内科学分野 Endocrinology and Metabolism

### 総合外科学講座 General Surgical Science

消化管外科学分野 Gastroenterological Surgery

### 腫瘍放射線学講座 Radiation Oncology

腫瘍放射線学分野 Radiation Oncology

### 放射線診断核医学講座 Diagnostic Radiology and Nuclear Medicine

放射線診断核医学分野 Diagnostic Radiology and Nuclear Medicine

### 神経精神医学講座 Psychiatry and Neuroscience

神経精神医学分野 Psychiatry and Neuroscience

### 総合医療学講座 General Medicine

総合医療学分野 General Medicine

### リハビリテーション医学講座 Rehabilitation Medicine

リハビリテーション医学分野 Rehabilitation Medicine

### 臨床検査医学講座 Clinical Laboratory Medicine

臨床検査医学分野 Clinical Laboratory Medicine

### 病態病理学講座 Human Pathology

病態病理学分野 Human Pathology

### 病理診断学講座 Diagnostic Pathology

病理診断学分野 Diagnostic Pathology

### 小児科学講座 Pediatrics

小児科学分野 Pediatrics

### 産科婦人科学講座 SObstetrics and Gynecology

産科婦人科学分野 Obstetrics and Gynecology

### 泌尿器科学講座 Urology

泌尿器科学分野 Urology

### 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座 Otolaryngology-Head and Neck Surgery

耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野 Otolaryngology-Head and Neck Surgery

### 臨床薬理学講座 Clinical Pharmacology and Therapeutics

臨床薬理学分野 Clinical Pharmacology and Therapeutics

### 医療の質・安全学講座 Quality and Safety in Healthcare

医療の質・安全学分野 Quality and Safety in Healthcare

## 協力講座・連携講座 Cooperating and Coordinating Laboratories

### 協力講座 Cooperating

臨床試験学分野	Clinical Trials and Regulatory Science
情報医療学分野	Medical Informatics
細胞構造分野	Molecular Traffic
脳病態制御分野	Medical Neuroscience
分泌統御分野	Secretion Biology
生体膜機能分野	Molecular Membrane Biology
個体統御システム分野	Integrated Signaling Systems
遺伝生化学分野	Molecular Endocrinology and Metabolism
分子糖代謝制御分野	Developmental Biology and Metabolism
代謝シグナル解析分野	Metabolic Signal
遺伝エピジェネティクス分野	Epigenetics and Metabolism
遺伝子情報分野	Molecular Genetics
ゲノム科学リソース分野	Genome Sciences
重粒子線医学物理・生物学分野	Medical Physics and Biology for Ion Therapy
重粒子線臨床医学分野	Heavy Ion Clinical Medicine



### 連携講座 Coordinating

生体機能解析学分野	Quantum Biology
-----------	-----------------

## 保健学研究科保健学専攻 Course of Health Sciences Graduate School of Health Sciences

### 保健学専攻 Course of Health Sciences

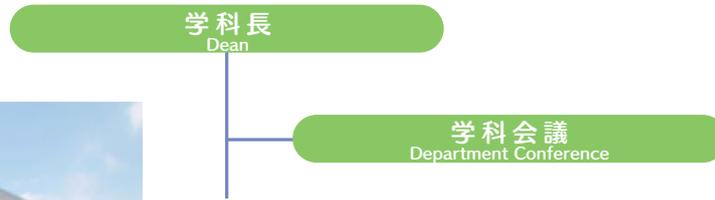
#### 博士後期課程 Doctoral Program

看護学領域	Department of Nursing
生体情報検査科学領域	Department of Laboratory Sciences
リハビリテーション学領域	Department of Rehabilitation Sciences

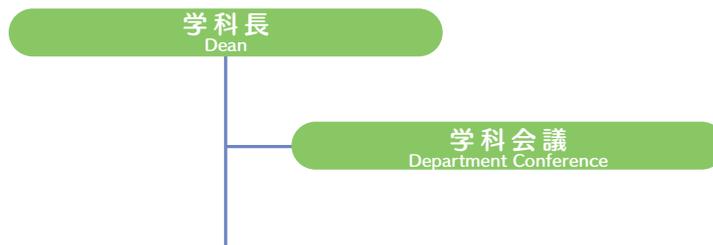
#### 博士前期課程 Master's Program

基礎保健学ユニット	Unit of Fundamental Health Sciences
応用保健学ユニット	Unit of Applied Health Sciences
地域・国際保健学ユニット	Unit of International and Community Health Sciences

## 医学科 School of Medicine



## 保健学科 School of Health Sciences



## 専攻 Department

### 看護学専攻 Department of Nursing

学科目	基	礎	看	護	学	
	基	礎	看	護	学	Fundamental Nursing
	臨	床	看	護	学	Clinical Nursing
	母	子	看	護	学	Maternal and Child Health Nursing and Midwifery
	地	域	看	護	学	Community Health Nursing

### 検査技術科学専攻 Department of Laboratory Sciences

学科目	基	礎	検	査	学	
	基	礎	検	査	学	Basic Laboratory Sciences
	応	用	検	査	学	Clinical Laboratory Sciences

### 理学療法学専攻 Department of Physical Therapy

学科目	基	礎	理	学	療	法	学	
	基	礎	理	学	療	法	学	Basic Physical Therapy
	総	合	理	学	療	法	学	Clinical Physical Therapy

### 作業療法学専攻 Department of Occupational Therapy

学科目	基	礎	作	業	療	法	学			
	基	礎	作	業	療	法	学	Basic Occupational Therapy		
	心	身	障	害	作	業	療	法	学	Applied Occupational Therapy

### 医療基礎学 Department of Basic Sciences

学科目	医	療	基	礎	学	
	医	療	基	礎	学	Basic Sciences

附属病院 University Hospital



## 事務部 Administration Office

部長  
Director

次長  
Assistant Director

### 総務課 General Affairs Division

課長 Manager

副課長 Assistant Manager

庶務係 General Affairs Section  
文書法規係 Archives and Regulations Section  
広報係 Public Relations Section  
人事係 Personnel Section  
労務管理係 Labor Management Section

副課長 Assistant Manager

研究所庶務係 General Affairs Section of Institute for Molecular and Cellular Regulation  
臨床研修係 Postgraduate Clinical Training Section

### 学務課 Educational Affairs Division

課長 Manager

副課長 Assistant Manager

学事・学生支援係 Education and Student Support Section  
大学院係 Graduate School Section  
医学科教務係 Instruction Section of School of Medicine  
保健学科教務係 Instruction Section of School of Health Sciences  
入学試験係 Admissions Section  
リーディングプログラム統括係 General Section of Program for Leading Graduate Schools

### 経営企画課 Management Planning Division

課長 Manager

副課長 Assistant Manager

企画係 Planning Section  
経営予算係 Management Budget Section  
経営分析係 Management Analysis Section

### 管理運営課 Administration and Management Division

課長 Manager

副課長 Assistant Manager

総務監査係 Administration and Audit Section  
経理係 Accounting Section  
用度係 Supplies Section  
医療物品係 Medical Supplies Section  
研究所会計係 Accounting Section of Institute for Molecular and Cellular Regulation

副課長 Assistant Manager

施設管理係 Plant Maintenance Section  
環境保全係 Environment Preservation Section

### 医事課 Medical Affairs Division

課長 Manager

副課長 Assistant Manager

医事係 Medical Affairs Section  
収入係 Cashier Section  
診療報酬算定係 Medical Payment Calculate Section  
診療情報管理係 Medical Records Management Section  
医療情報係 Medical Care Information Section

副課長 Assistant Manager

診療部門事務係 Medical Affairs Clerical Section  
医療支援係 Medical Support Section  
福祉・連携係 Social Welfare and Regional Cooperation Section  
医療安全係 Risk Management Section  
栄養管理室 Section of Clinical Nutrition Management

### 医療安全推進室 Risk Management Office

室長 Manager

## (1) 役職員 Administrative Staff

医学系研究科長 Dean. Graduate School of Medicine	石崎 泰樹 ISHIZAKI Yasuki
医科学専攻長 Dean. Course of Medical Sciences	石崎 泰樹 ISHIZAKI Yasuki
生命医科学専攻長 Dean. Course of Biomedical Sciences	石崎 泰樹 ISHIZAKI Yasuki
保健学研究科長 Dean. Course of Health Sciences	村上 博和 MURAKAMI Hirokazu
医学部部長 Dean. Faculty of Medicine	石崎 泰樹 ISHIZAKI Yasuki
医学科長 Dean. School of Medicine	石崎 泰樹 ISHIZAKI Yasuki
保健科学科長 Dean. School of Health Sciences	村上 博和 MURAKAMI Hirokazu
医学部附属病院長 Director. University Hospital	田村 遵一 TAMURA Junichi
医学系研究科附属生物資源センター長 Director. Bioresource Center	白尾 智明 SHIRAO Tomoaki
医学系研究科附属薬剤耐性菌実験施設長 Director. Laboratory of Drug Resistance in Bacteria	富田 治芳 TOMITA Haruyoshi
総合情報メディアセンター医学図書館長 Director. Medical Library	依藤 宏 YORIFUJI Hiroshi



## ○医学系研究科 Course of Medical Sciences Graduate School of Medicine

基礎・基盤医学領域  
Basic Medical Sciences



- 機能形態学講座 Anatomy  
機能形態学分野 教授 依藤 宏  
Anatomy Professor YORIFUJI Hiroshi
- 生体構造学講座 Anatomy and Cell Biology  
生体構造学分野 教授 松崎 利行  
Anatomy and Cell Biology Professor MATSUZAKI Toshiyuki
- 分子細胞生物学講座 Molecular and Cellular Neurobiology  
分子細胞生物学分野 教授 石崎 泰樹  
Molecular and Cellular Neurobiology Professor ISHIZAKI Yasuki
- 生化学講座 Biochemistry  
生化学分野 教授 和泉 孝志  
Biochemistry Professor IZUMI Takashi
- 応用生理学講座 Integrative Physiology  
応用生理学分野 教授 鯉淵 典之  
Integrative Physiology Professor KOIBUCHI Noriyuki
- 脳神経再生医学講座 Neurophysiology and Neural Repair  
脳神経再生医学分野 教授 平井 宏和  
Neurophysiology and Neural Repair Professor HIRAI Hirokazu
- 神経薬理学講座 Neurobiology and Behavior  
神経薬理学分野 教授 白尾 智明  
Neurobiology and Behavior Professor SHIRAO Tomoaki
- 遺伝発達行動学講座 Genetic and Behavioral Neuroscience  
遺伝発達行動学分野 教授 柳川 右千夫  
Genetic and Behavioral Neuroscience Professor YANAGAWA Yuchio
- 病態腫瘍薬理学講座 Molecular Pharmacology and Oncology  
病態腫瘍薬理学分野 教授 西山 正彦  
Molecular Pharmacology and Oncology Professor NISHIYAMA Masahiko
- 細菌学講座 Bacteriology  
細菌学分野 教授 富田 治芳  
Bacteriology Professor TOMITA Haruyoshi
- 国際寄生虫病学講座 Parasitology  
国際寄生虫病学分野 教授 石崎 泰樹  
Parasitology Professor ISHIZAKI Yasuki



● 公衆衛生学講座 Public Health

公衆衛生学分野  
Public Health

教授 小山 洋  
Professor KOYAMA Hiroshi

● 法医学講座 Legal Medicine

法医学分野  
Legal Medicine

教授 小湊 慶彦  
Professor KOMINATO Yoshihiko

● 医学哲学・倫理学講座 Medical Philosophy and Ethics

医学哲学・倫理学分野  
Medical Philosophy and Ethics

教授 服部 健司  
Professor HATTORI Kenji

臨床医学領域  
Clinical Sciences



● 内科学講座 Internal Medicine

循環器内科学分野  
Cardiovascular Medicine

教授 倉林 正彦  
Professor KURABAYASHI Masahiko

呼吸器・アレルギー内科学分野  
Allergy and Respiratory Medicine

教授 倉林 正彦  
Professor KURABAYASHI Masahiko

消化器・肝臓内科学分野  
Gastroenterology and Hepatology

教授 倉林 正彦  
Professor KURABAYASHI Masahiko

内分泌代謝内科学分野  
Endocrinology and Metabolism

教授 山田 正信  
Professor YAMADA Masanobu

腎臓・リウマチ内科学分野  
Nephrology and Rheumatology

教授 倉林 正彦  
Professor KURABAYASHI Masahiko

血液内科学分野  
Hematology

教授 倉林 正彦  
Professor KURABAYASHI Masahiko

脳神経内科学分野  
Neurology

教授 池田 佳生  
Professor IKEDA Yoshio

● 総合外科学講座 General Surgical Science

循環器外科学分野  
Cardiovascular Surgery

教授 桑野 博行  
Professor KUWANO Hiroyuki

呼吸器外科学分野  
General Thoracic Surgery

教授 桑野 博行  
Professor KUWANO Hiroyuki

消化管外科学分野  
Gastroenterological Surgery

教授 桑野 博行  
Professor KUWANO Hiroyuki

乳腺・内分泌外科学分野  
Breast and Endocrine Surgery

教授 桑野 博行  
Professor KUWANO Hiroyuki

肝胆膵外科学分野  
Hepato Biliary and Pancreatic Surgery

教授 調 憲  
Professor SHIRABE Ken

小児外科学分野  
Pediatric Surgery

教授 桑野 博行  
Professor KUWANO Hiroyuki



- **腫瘍放射線学講座 Radiation Oncology**  
腫瘍放射線学分野 教授 中野 隆史  
Radiation Oncology Professor NAKANO Takashi
- **放射線診断核医学講座 Diagnostic Radiology and Nuclear Medicine**  
放射線診断核医学分野 教授 対馬 義人  
Diagnostic Radiology and Nuclear Medicine Professor TSUSHIMA Yoshito
- **神経精神医学講座 Psychiatry and Neuroscience**  
神経精神医学分野 教授 福田 正人  
Psychiatry and Neuroscience Professor FUKUDA Masato
- **麻酔神経科学講座 Anesthesiology**  
麻酔神経科学分野 教授 齋藤 繁  
Anesthesiology Professor SAITO Shigeru
- **救急医学講座 Emergency Medicine**  
救急医学分野 教授 大嶋 清宏  
Emergency Medicine Professor OSHIMA Kiyohiro
- **総合医療学講座 General Medicine**  
総合医療学分野 教授 田村 遵一  
General Medicine Professor TAMURA Junichi
- **リハビリテーション医学講座 Rehabilitation Medicine**  
リハビリテーション医学分野 教授 和田 直樹  
Rehabilitation Medicine Professor WADA Naoki
- **臨床検査医学講座 Clinical Laboratory Medicine**  
臨床検査医学分野 教授 村上 正巳  
Clinical Laboratory Medicine Professor MURAKAMI Masami
- **病態病理学講座 Human Pathology**  
病態病理学分野 教授 横尾 英明  
Human Pathology Professor YOKOO Hideaki
- **病理診断学講座 Diagnostic Pathology**  
病理診断学分野 教授 小山 徹也  
Diagnostic Pathology Professor OYAMA Tetsunari
- **小児科学講座 Pediatrics**  
小児科学分野 教授 荒川 浩一  
Pediatrics Professor ARAKAWA Hirokazu
- **産科婦人科学講座 Obstetrics and Gynecology**  
産科婦人科学分野 教授 石崎 泰樹  
Obstetrics and Gynecology Professor ISHIZAKI Yasuki
- **泌尿器科学講座 Urology**  
泌尿器科学分野 教授 鈴木 和浩  
Urology Professor SUZUKI Kazuhiro
- **脳神経外科学講座 Neurosurgery**  
脳神経外科学分野 教授 好本 裕平  
Neurosurgery Professor YOSHIMOTO Yuhei
- **眼科学講座 Ophthalmology**  
眼科学分野 教授 秋山 英雄  
Ophthalmology Professor AKIYAMA Hideo
- **耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座 Otolaryngology-Head and Neck Surgery**  
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野 教授 近松 一郎  
Otolaryngology-Head and Neck Surgery Professor CHIKAMATSU Kazuaki
- **皮膚科学講座 Dermatology**  
皮膚科学分野 教授 石川 治  
Dermatology Professor ISHIKAWA Osamu
- **形成外科学講座 Plastic Surgery**  
形成外科学分野 教授 横尾 聡  
Plastic Surgery Professor YOKOO Satoshi



- **整形外科科学講座 Orthopaedic Surgery**  
 整形外科学分野 教授 筑田 博隆  
 Orthopaedic Surgery Professor CHIKUDA Hiroataka
- **臨床薬理学講座 Clinical Pharmacology and Therapeutics**  
 臨床薬理学分野 教授 山本 康次郎  
 Clinical Pharmacology and Therapeutics Professor YAMAMOTO Kojiro
- **口腔顎顔面外科学講座 Oral and Maxillofacial Surgery**  
 口腔顎顔面外科学分野 教授 横尾 聡  
 Oral and Maxillofacial Surgery Professor YOKOO Satoshi
- **医療の質・安全学講座 Quality and Safety in Healthcare**  
 医療の質・安全学分野 教授 小松 康宏  
 Quality and Safety in Healthcare Professor KOMATSU Yasuhiro

## ○保健学研究科 Graduate School of Health Sciences



- 看護学講座  
Department of Nursing
- 教授 浅野 修一郎  
Professor ASANO Shuichiro
  - 教授 牛久保美津子  
Professor USHIKUBO Mitsuko
  - 教授 内田 陽子  
Professor UCHIDA Yoko
  - 教授 大庭 志野  
Professor OBA Shino
  - 教授 大山 良雄  
Professor OYAMA Yoshio
  - 教授 岡 美智代  
Professor OKA Michiyo
  - 教授 神田 清子  
Professor KANDA Kiyoko
  - 教授 近藤 浩子  
Professor KONDO Hiroko
  - 教授 佐光 恵子  
Professor SAKO Keiko
  - 教授 佐藤 由美  
Professor SATO Yumi
  - 教授 篠崎 博光  
Professor SHINOZAKI Hiromitsu
  - 教授 常盤 洋子  
Professor TOKIWA Yoko
  - 教授 二渡 玉江  
Professor FUTAWATARI Tamae
  - 教授 森 淑江  
Professor MORI Yoshie
  - 教授 吉田 亨  
Professor YOSHIDA Toru





生体情報検査科学講座  
Department of Laboratory Sciences

- |           |                   |
|-----------|-------------------|
| 教授        | 大西浩史              |
| Professor | OHNISHI Hiroshi   |
| 教授        | 興石一郎              |
| Professor | KOSHISHI Ichiro   |
| 教授        | 齋尾征直              |
| Professor | SAIO Masanao      |
| 教授        | 齋藤貴之              |
| Professor | SAITO Takayuki    |
| 教授        | 嶋田淳子              |
| Professor | SHIMADA Junko     |
| 教授        | 中村和裕              |
| Professor | NAKAMURA Kazuhiro |
| 教授        | 林邦彦               |
| Professor | HAYASHI Kunihiko  |
| 教授        | 村上博和              |
| Professor | MURAKAMI Hirokazu |
| 教授        | 横山知行              |
| Professor | YOKOYAMA Tomoyuki |
| 教授        | 李範爽               |
| Professor | LEE Bumsuk        |
| 教授        | 臼田滋               |
| Professor | USUDA Shigeru     |
| 教授        | 菊地千一郎             |
| Professor | KIKUCHI Senichiro |
| 教授        | 坂本雅昭              |
| Professor | SAKAMOTO Masaaki  |
| 教授        | 外里富佐江             |
| Professor | TOZATO Fusae      |
| 教授        | 土橋邦生              |
| Professor | DOBASHI Kunio     |
| 教授        | 三井真一              |
| Professor | MITSUMI Shinichi  |
| 教授        | 山崎恆夫              |
| Professor | YAMAZAKI Tsuneo   |
| 教授        | 渡邊秀臣              |
| Professor | WATANABE Hideomi  |



リハビリテーション学講座  
Department of Rehabilitation Sciences



## ○事務部 Administration Office



事務部 Director, Administration Office	長	宮田 幸宏 MIYATA Yukihiko
次長 Assistant Director, Administration Office	長	今泉 一宏 IMAIZUMI Kazuhiro
総務課 Manager, General Affairs Division	長	飯塚 秀司 IDUKA Shuji
学務課 Manager, Educational Affairs Division	長	笠井 好之 KASAI Yoshiyuki
経営企画課 Manager, Management Planning Division	長	一條 敬一 ICHIJO Keiichi
管理運営課 Manager, Administration and Management Division	長	穴戸 文雄 SHISHIDO Fumio
医事課 Manager, Medical Affairs Division	長	星野 幸久 HOSHINO Yukihisa
医療安全推進室 Manager, Risk Management Office	長	尾内 仁志 ONAI Hitoshi

## ○附属病院 University Hospital

### 診療科 Clinical Division



内科診療センター Integrative Center of Internal Medicine	センター長	山田 正信 YAMADA Masanobu
循環器内科 Division of Cardiovascular Medicine	科長	倉林 正彦 KURABAYASHI Masahiko
呼吸器・アレルギー内科 Division of Allergy and Respiratory Medicine	科長	久田 剛志 HISADA Takeshi
消化器・肝臓内科 Division of Gastroenterology and Hepatology	科長	草野 元康 KUSANO Motoyasu
内分泌糖尿病内科 Division of Endocrinology and Diabetes	科長	山田 正信 YAMADA Masanobu
腎臓・リウマチ内科 Division of Nephrology and Rheumatology	科長	廣村 桂樹 HIROMURA Keiju
血液内科 Division of Hematology	科長	半田 寛 HANDA Hiroshi
脳神経内科 Division of Neurology	科長	池田 佳生 IKEDA Yoshio
外科診療センター Integrative Center of General Surgery	センター長	桑野 博行 KUWANO Hiroyuki
循環器外科 Division of Cardiovascular Surgery	科長	高橋 徹 TAKAHASHI Toru
呼吸器外科 Division of General Thoracic Surgery	科長	茂木 晃 MOGI Akira
消化器管外科 Division of Gastroenterological Surgery	科長	桑野 博行 KUWANO Hiroyuki
乳腺・内分泌外科 Division of Breast and Endocrine Surgery	科長	藤井 孝明 FUJII Takaaki
肝胆膵外科 Division of Hepato Biliary and Pancreatic Surgery	科長	調 憲 SHIRABE Ken
小児外科 Division of Pediatric Surgery	科長	鈴木 信 SUZUKI Makoto
泌尿器科 Urology	科長	鈴木 和浩 SUZUKI Kazuhiro
歯科口腔・顎顔面外科 Oral and Maxillofacial Surgery	科長	横尾 聡 YOKOO Satoshi



整形外科	科長	筑田博隆
Orthopaedic Surgery	Director	CHIKUDA Hiroataka
皮膚科	科長	石川治
Dermatology	Director	ISHIKAWA Osamu
眼科	科長	秋山英雄
Ophthalmology	Director	AKIYAMA Hideo
耳鼻咽喉科	科長	近松一朗
Otolaryngology-Head and Neck Surgery	Director	CHIKAMATSU Kazuaki
精神科 神経科	科長	福田正人
Neuropsychiatry	Director	FUKUDA Masato
麻酔科 蘇生科	科長	齋藤 繁
Anesthesiology	Director	SAITO Shigeru
脳神経外科	科長	好本裕平
Neurosurgery	Director	YOSHIMOTO Yuhei
小児科	科長	荒川浩一
Pediatrics	Director	ARAKAWA Hirokazu
産科 婦人科	科長	
Obstetrics and Gynecology	Director	
放射線科	科長	中野隆史
Radiation Oncology	Director	NAKANO Takashi
核医学科	科長	対馬義人
Diagnostic Radiology and Nuclear Medicine	Director	TSUSHIMA Yoshito
形成外科	科長	牧口貴哉
Plastic and Reconstructive Surgery	Director	MAKIGUCHI Takaya



検査部	部長	村上正巳
Department of Clinical Laboratory	Director	MURAKAMI Masami
手術部	部長	好本裕平
Operating Suite	Director	YOSHIMOTO Yuhei
放射線部	部長	対馬義人
Department of Radiology	Director	TSUSHIMA Yoshito
輸血部	部長	横濱章彦
Division of Blood Transfusion	Director	YOKOHAMA Akihiko
集中治療部	部長	齋藤 繁
Intensive Care Unit	Director	SAITO Shigeru
病理部	部長	小山徹也
Clinical Department of Pathology	Director	OYAMA Tetsunari
周産母子センター	部長	田村遵一
Perinatal Care Center	Director	TAMURA Junichi
光学医療診療部	部長	草野元康
Department of Endoscopy and Endoscopic Surgery	Director	KUSANO Motoyasu
リハビリテーション部	部長	和田直樹
Rehabilitation Service	Director	WADA Naoki
感染制御部	部長	徳江 豊
Infection Control and Prevention Center	Director	TOKUE Yutaka
腫瘍センター	センター長	塚本憲史
Oncology Center	Director	TSUKAMOTO Norifumi
重粒子線医学センター	センター長	田村遵一
Heavy Ion Medical Center	Director	TAMURA Junichi
救命・総合医療センター	センター長	大嶋清宏
Critical and Primary Care Center	Director	OSHIMA Kiyohiro



## 診療支援部門

Department of Medical Support

ME サプライセンター Central Supply	センター長 Director	近松 一朗 CHIKAMATSU Kazuaki
システム統合センター System Integration Center	センター長 Director	齋藤 勇一郎 SAITO Yuichiro
臨床試験部 Clinical Investigation and Research Unit	部長 Director	中村 哲也 NAKAMURA Tetsuya
診療情報管理部 Medical Information Management Center	部長 Director	齋藤 繁 SAITO Shigeru
栄養管理部 Division of Clinical Nutrition Management	部長 Director	山田 正信 YAMADA Masanobu
患者支援センター Patients-Support and Community-Service Center	センター長 Director	村上 正巳 MURAKAMI Masami
肝疾患センター Center for Liver Disease	センター長 Director	山田 正信 YAMADA Masanobu
認知症疾患医療センター Medical Center for Dementia	センター長 Director	池田 佳生 IKEDA Yoshio
医療人能力開発センター Medical Education Center	センター長 Director	大嶋 清宏 OOSHIMA Kiyohiro
保険診療管理センター Management Center of Medical Services under Health Insurance	センター長 Director	鈴木 和浩 SUZUKI Kazuhiro

## 薬剤部

Department of Pharmacy

部長 山本 康次郎  
Director YAMAMOTO Kojiro

## 看護部

Division of Nursing

部長 塚越 聖子  
Director TSUKAGOSHI Seiko

## 医療の質・安全管理部

Quality and Safety in Healthcare Management Center

部長 小松 康宏  
Director KOMATSU Yasuhiro

## 先端医療開発センター

Inovative Medical Research Center

センター長 浅尾 高行  
Director ASAO Takayuki

## (2) 職員数 Number of Staff Members

(平成29.5.1現在)  
(As of May 1, 2017)

区分 Classification		医学系研究科 Graduate School of Medicine	保健学研究科 Graduate School of Health Sciences	医学部 Medicine, Faculty of Medicine	附属病院 University Hospital	重粒子線医学推進機構 Organization for Promotion of Heavy Ion Medicine	昭和地区事務部 Administration Division
教員 Teaching Staff	教授 Professors	37	34	—	1	3	—
	准教授 Associate Professors	25	11	—	12	—	
	講師 Associate Professors	24	11	—	37	1	
	助教 Assistant Professors	70	25	—	148	10	
	助手 Research Associates	—	—	1	—	—	
小計 Sub Total		156	81	1	198	14	
その他の職員 Other Staff	一般職 general Staff	1	—	15	1012	—	160
	医療職 Medical Staff						
非常勤職員 Part-time Staff		114	17	15	533	5	56
合計 Total		271	98	31	1743	19	216

※休職者は除く



## (1) 学生定員及び現員数 Number of Students

学部 Faculty

(平成29.5.1現在)  
(As of May 1, 2017)

学 科 Departments	入学定員 Admission Capacity	現 員 Present Enrollment Number						
		1年次 1st year	2年次 2nd year	3年次 3rd year	4年次 4th year	5年次 5th year	6年次 6th year	計 Total
医学科 School of Medicine	[15]108	114	140	143	121	106	126	750
保健学科 School of Health Sciences	(10)160	166	171	160	165			662

・〔 〕内の数は2年次編入学定員, ( )内の数は3年次編入学定員を表し, 外数である。

・Numbers in parentheses show the admission capacity for transfer students, and are not included in the total.

大学院 Graduate School

(平成29.5.1現在)  
(As of May 1, 2017)

専 攻 Courses	入学定員 Admission Capacity	現 員 Present Enrollment Number				
		1年次 1st year	2年次 2nd year	3年次 3rd year	4年次 4th year	計 Total
医学系研究科生命医科学専攻修士課程 Biomedical Sciences Master's Program	15	12	14			26
医学系研究科医科学専攻博士課程 Medical Sciences Doctoral Program	57	46	57	66	112	281
保健学研究科保健学専攻博士前期課程 Health Sciences Master's Program	50	50	61			111
保健学研究科保健学専攻博士後期課程 Health Sciences Doctoral Program	10	11	12	34		57

## (2) 卒業者及び修了者数 Number of Graduates

学部 Faculty

(平成29.5.1現在)  
(As of May 1, 2017)

区 分 Classification	卒業者数 Number of Graduates
前橋医学専門学校 (昭18.4~昭26.3) Maebashi Medical College (Apr 1 1943 ~ March 1951)	450
前橋医科大学 (昭23.2~昭35.3) Maebashi College of Medical Science (Feb 1948 ~ March 1960)	138
群馬大学医学部 (昭24.5~平成29.3) Gunma University School of Medicine (May 1949 ~ March 2017)	8,478
計 Total	9,066

大学院 Graduate School

博士課程 Doctoral Program

(平成29. 5. 1 現在)  
(As of May 1, 2017)

専攻 Course	修了者数 Number
生理学系 Physiological Medicine	144
病理学系 Pathological Medicine	163
社会医学系 Social Medicine	71
内科学系 Internal Medicine	339
外科学系 Surgical Medicine	318
医科学専攻 Medical Sciences	602
計 Total	1,637

博士前期課程 Master's Program

(平成29. 5. 1 現在)  
(As of May 1, 2017)

専攻 Course	修了者数 Number
保健学 Health Sciences	741

博士後期課程 Doctoral Program

(平成29. 5. 1 現在)  
(As of May 1, 2017)

専攻 Course	修了者数 Number
保健学 Health Sciences	109

修士課程 Master's Program

(平成29. 5. 1 現在)  
(As of May 1, 2017)

専攻 Course	修了者数 Number
生命医科学 Biomedical Sciences	98

(3) 学位授与者数 Number of Graduate Degrees Conferred

修士 (生命医科学) Master of Biomedical Sciences

(平成29. 5. 1 現在)  
(As of May 1, 2017)

課程 Course	学位授与者数 Number
修士 Master's Program	98

修士 (保健学) Master of Health Sciences

(平成29. 5. 1 現在)  
(As of May 1, 2017)

課程 Course	学位授与者数 Number
修士 Master's Program	725

博士 (医学) Doctor of Medicine

(平成29. 5. 1 現在)  
(As of May 1, 2017)

課程 Course	学位授与者数 Number
課程博士 Doctoral Program	1,637
論文博士 Doctor of Submitting Thesis	1,406
計 Total	3,043

修士 (看護学) Master of Science in Nursing

(平成29. 5. 1 現在)  
(As of May 1, 2017)

課程 Course	学位授与者数 Number
修士 Master's Program	16

博士 (保健学) Doctor of Health Sciences

(平成29. 5. 1 現在)  
(As of May 1, 2017)

課程 Course	学位授与者数 Number
課程博士 Doctoral Program	109
論文博士 Doctor of Submitting Thesis	7
計 Total	116

(4) 図書・雑誌 Books and Journals

(平成29. 5. 1 現在)  
(As of May 1, 2017)

図書 Books			雑誌 Journals			電子ジャーナル Electronic Journals
和書 Japanese	洋書 Foreign	合計 Total	和雑誌 Japanese	洋雑誌 Foreign	合計 Total	
69,288	59,752	129,040	1,826	1,730	3,556	6,911

(5) 解剖体数 Number of Autopsies

献体区分 Donation	平成24年度 2012	平成25年度 2013	平成26年度 2014	平成27年度 2015	平成28年度 2016
系統解剖体 Systematical Anatomy	46	39	36	50	54
病理解剖体 Pathological Anatomy	44	34	29	29	34



## (1) 病床数 Number of Hospital Beds

(平成29, 5, 1 現在)  
(As of May 1, 2017)

南病棟	階	北病棟
眼科	9F	内分泌糖尿病内科 消化器・肝臓内科 呼吸器・アレルギー内科 結核
皮膚科	8F	脳神経外科 整形外科
脳神経内科		SCU
泌尿器科	7F	腎臓・リウマチ内科 血液内科
歯科口腔・顎顔面外科		乳腺・内分泌外科
耳鼻咽喉科	6F	放射線科・RI 核医学科 泌尿器科
消化管外科 肝胆膵外科		消化管外科 肝胆膵外科
整形外科	5F	消化管外科 肝胆膵外科
呼吸器・アレルギー内科 循環器内科 麻酔科蘇生科	4F	ICU
産科婦人科 腎臓リウマチ内科 血液内科 (女性専用)	3F	小児科 小児外科
周産母子センター(NICU・GCU)		BCR
	2F	呼吸器外科 循環器外科 救急科
	1F	

東棟
精神科神経科
特別診療棟
感染症病床

※病床を有する部門のみ表示。

棟	階	病 床 数 Number of Beds			病 床 内 訳 Classified Beds						
		各科	共通病床	合計 Total	重症加 算病床 Special Beds Extra Charge	差額病床 Beds Extra Charge			無菌病床 Bioclean Beds	特定入院料 算定病床	普通病床 Standard Beds
						特別室A Special Room	特別室B Special Room	特別室C Special Room			
北 病 棟	9F	47	4	51	5		4	5			37
	8F	52		52	3		4			6	39
	7F	52		52	4	1	4	3	7*		36
	6F	50	2	52	3		4				45
	5F	52		52	3	1	2	5			41
	4F	17		17						17	
	3F	31	7	38	4		4		3	27	
	2F	36		36	8		4				24
南 病 棟	9F	34	11	45	1		2	3			39
	8F	42	1	43	3		2				38
	7F	48		48	3	1	2	1	1		40
	6F	46	2	48	2		3				43
	5F	45		45	3	2	1				39
	4F	43	1	44	7		1				36
	3F	61	5	66	3		2	1		20	40
東棟	1F	40		40							40
特別 診療棟	1F		2	2						2	
合計		696	35	731	52	5	39	18	11*	72	537

※うち3床は重症加算病床。

## (2) 患者数 Number of Patients

### 1. 診療科別 Clinical Divisions

(平成28年度)  
(in 2016)

診療科別 Clinical Departments	入院 Inpatients		外来 Outpatients	
	延患者数 Total Number of Patients	一日平均 Per Day	延患者数 Total Number of Patients	一日平均 Per Day
<b>内科系</b> Internal Medicine	47,703	130.7	118,033	485.7
循環器内科 Cardiovascular Medicine				
呼吸器・アレルギー内科 Allergy and Respiratory Medicine				
消化器・肝臓内科 Gastroenterology and Hepatology				
内分泌糖尿病内科 Endocrinology and Diabetes				
腎臓・リウマチ内科 Nephrology and Rheumatology				
血液内科 Hematology				
脳神経内科 Neurology				
<b>外科系</b> Surgical Medicine	62,393	171.0	113,813	468.3
循環器外科 Cardiovascular Surgery				
呼吸器外科 General Thoracic Surgery				
消化管外科 Gastroenterological Surgery				
乳腺・内分泌外科 Breast and Endocrine Surgery				
肝胆膵外科 Hepato Biliary and Pancreatic Surgery				
泌尿器科 Urology				
歯科口腔・顎顔面外科 Oral and Maxillofacial Surgery				
形成外科 Plastic and Reconstructive Surgery				
<b>感覚器・運動機能系</b> Sensory Organs and Motors Skills	49,323	135.1	145,278	597.9
整形外科 Orthopaedic Surgery				
皮膚科 Dermatology				
眼科 Ophthalmology				
耳鼻咽喉科 Otolaryngology-Head and Neck Surgery				
<b>脳神経・精神・麻酔系</b> Neuropsychiatry, Psychiatry and Anesthesiology	25,337	69.4	29,114	119.8
精神科神経科 Neuropsychiatry				
麻酔科蘇生科 Anesthesiology				
脳神経外科 Neurosurgery				
<b>小児・女性系</b> Pediatrics, Obstetrics and Gynecology	26,539	72.7	40,625	167.2
小児科 Pediatrics				
小児外科 Pediatric Surgery				
産科婦人科 Obstetrics and Gynecology				
<b>放射線系</b> Radiology	7,443	20.4	33,351	137.3
放射線科 Radiation Oncology				
核医学科 Diagnostic Radiology and Nuclear Medicine				
計 Total	218,738	599.3	480,214	1,976.2

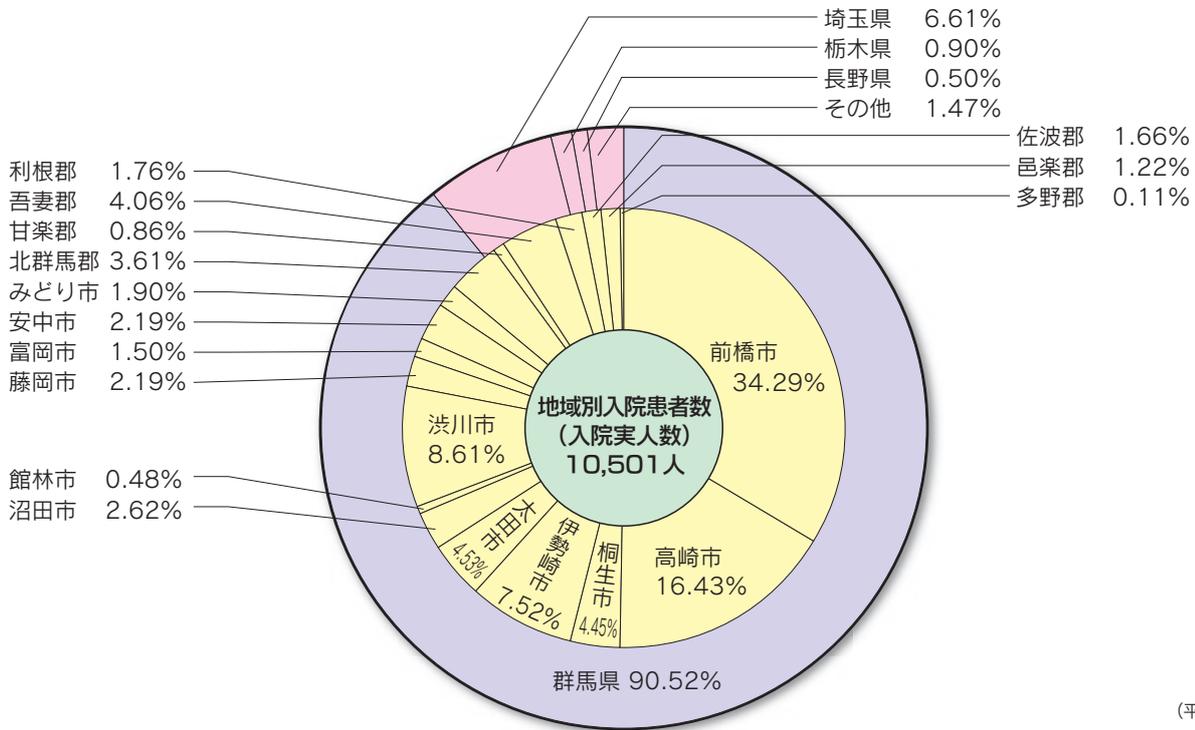
外来診療日数 243日

### 2. 5ヶ年度比較

Compared five years

年度別 Years	入院 Inpatients		外来 Outpatients	
	延患者数 Total Number of Patients	一日平均 Per Day	延患者数 Total Number of Patients	一日平均 Per Day
平成24年度 2012	225,974	619.1	487,224	2,005.0
平成25年度 2013	224,708	615.6	517,083	2,119.2
平成26年度 2014	224,716	615.7	516,524	2,116.9
平成27年度 2015	217,915	595.4	491,107	2,021.0
平成28年度 2016	218,738	599.3	480,214	1,976.2

### (3) 地域別入院患者調べ Number of Inpatients Divided by Districts



(平成28年度)  
(in 2016)

都道府県別			群馬県内		
都道府県名	人数 (人)	構成割合 (%)	地域名	人数 (人)	構成割合 (%)
宮城県	4	0.04	前橋市	3,260	34.29
秋田県	2	0.02	高崎市	1,562	16.43
山形県	5	0.05	桐生市	423	4.45
福島県	5	0.05	伊勢崎市	715	7.52
茨城県	6	0.06	太田市	431	4.53
栃木県	95	0.90	沼田市	249	2.62
群馬県	9,506	90.52	館林市	46	0.48
埼玉県	694	6.61	渋川市	818	8.61
千葉県	15	0.14	藤岡市	208	2.19
東京都	46	0.44	富岡市	143	1.50
神奈川県	28	0.27	安中市	208	2.19
新潟県	21	0.20	みどり市	181	1.90
石川県	1	0.01	北群馬郡	343	3.61
山梨県	3	0.03	甘楽郡	82	0.86
長野県	52	0.50	吾妻郡	386	4.06
静岡県	5	0.05	利根郡	167	1.76
愛知県	2	0.02	佐波郡	158	1.66
奈良県	2	0.02	邑楽郡	116	1.22
鹿児島県	1	0.01	多野郡	10	0.11
岡山県	1	0.01			
滋賀県	2	0.02			
沖縄県	1	0.01			
富山県	2	0.02			
岐阜県	1	0.01			
合計	10,501	100.00	合計	9,506	100.00

## (4) 臨床検査件数 Number of Clinical Laboratory Tests

(平成28年度)  
(in 2016)

区 分 Classification		件 数 Cases
一 般 検 査 Urinalysis & Body fluid Test & Routine Test		130,627
血 液 学 的 検 査 Heamatological Test		505,947
微 生 物 学 的 検 査 Microbiological Test		44,961
免 疫 学 的 検 査 Immunological Test		289,982
生 化 学 的 検 査 Biochemical Test		3,007,834
生 理 機 能 検 査 Physiological Test	呼 吸 機 能 Respiratory function test	7,146
	循 環 機 能 Circulatory function test	19,037
	脳 神 経 検 査 Cerebral and Neurological test	1,822
	超 音 波 検 査 Sonography	6,360
	そ の 他 Others	162
病 理 組 織 Histopathological Examination		19,889
病 理 細 胞 診 Cytology Test		8,187
輸 血 関 連 検 査 Blood typing Test and Others		22,782
内 視 鏡 検 査 Endoscope Test		18,739
採 血 ・ 採 液 等 Sampling of Clinical Specimens		115,900

注) 保険適用外及び外注検査は含まない。

## (5) 重粒子線治療件数 Number of Heavy Ion Therapy

(平成28年度)  
(in 2016)

(平成28年度)  
(in 2016)

大 分 類 Large Classification	中 分 類 Middle Classification	人数 (人)	割合 (%)
重粒子線治療 Heavi Ion Therapy	前立腺がん	213	63.0
	肺がん	15	4.4
	頭頸部腫瘍	18	5.3
	肝臓がん	35	10.4
	膵臓がん	14	4.1
	骨軟部腫瘍	26	7.7
	直腸がん術後再発	7	2.1
	リンパ節再発	7	2.1
	子宮頸がん	0	0.0
	小児腫瘍	3	0.9
	頭蓋底腫瘍	0	0.0
合 計 Total		338	100.0

都道府県名	人 数 (人)	割 合 (%)	都道府県名	人 数 (人)	割 合 (%)
青 森 県	2	0.6	千 葉 県	1	0.3
宮 城 県	2	0.6	東 京 都	6	1.8
秋 田 県	1	0.3	神 奈 川 県	3	0.9
山 形 県	1	0.3	新 潟 県	18	5.3
福 島 県	6	1.8	富 山 県	2	0.6
茨 城 県	2	0.6	山 梨 県	1	0.3
栃 木 県	22	6.5	長 野 県	19	5.6
群 馬 県	192	56.8	愛 知 県	3	0.9
埼 玉 県	54	16.0	海 外	3	0.9
合 計 Total			338	100.0	

(6) 放射線検査数及び治療件数 Number of Radiologic Examinations and Radiotherapies

(平成28年度)  
(in 2016)

大分類 Classification	中分類 Classification	入院 Inpatients	外来 Outpatients	計 Total
一般撮影 (単純) Plain X-ray Examination	呼吸器・循環器	11,454	30,169	41,623
	消化器	2,696	2,872	5,568
	骨部	2,698	23,276	25,974
	軟部	50	3,312	3,362
	歯部	49	710	759
	ポータブル撮影	10,766	1,191	11,957
	手術室撮影	4,307	309	4,616
	特殊撮影	148	1,871	2,019
	その他	25	294	319
	一般撮影 (造影) Fluoroscopic Examination	単純造影撮影	2	52
呼吸器		37	35	72
消化器		358	169	527
泌尿器		87	91	178
瘻孔造影		31	3	34
肝臓・胆嚢・膵臓造影		11	1	12
婦人科骨盤腔造影		5	68	73
非血管系 I V R		0	0	0
その他		63	85	148
血管造影検査 Angiography		頭・頸部血管造影 (検査)	113	5
	頭・頸部血管 (IVR)	31	21	52
	心臓カテーテル法 (検査)	405	17	422
	心臓カテーテル法 (IVR)	286	36	322
	胸・腹部血管造影 (検査)	42	9	51
	胸・腹部血管造影 (IVR)	195	11	206
	四肢血管造影 (検査)	11	0	11
	四肢血管造影 (IVR)	59	0	59
	その他	580	27	607
X線CT検査 X-ray CT	単純CT撮影	4,141	11,975	16,116
	造影CT撮影	2,565	11,606	14,171
	特殊CT撮影 (血管腔抽出を行った場合)	51	187	238
	その他	0	112	112
MRI検査 MRI	単純MRI撮影	1,811	6,980	8,791
	造影MRI撮影	1,241	4,734	5,975
	特殊MRI撮影 (管腔抽出を行った場合)	0	0	0
	その他	0	0	0
核医学検査 (インビボ) Nuclear Medicine(In vivo)	SPECT	302	316	618
	全身シンチグラム	137	2,158	2,295
	部分 (静態) シンチグラム	33	94	127
	甲状腺シンチグラム	47	107	154
	部分 (動態) シンチグラム	159	220	379
	ポジトロン断層撮影 (PET)	366	3,598	3,964
その他	248	3	251	
骨塩定量 Bone Mineral Measurement	骨塩定量	192	1,713	1,905
超音波検査 Ultrasound	超音波検査	671	3,721	4,392
放射線治療 Radiotherapy	高エネルギー放射線照射	7,499	7,266	14,765
	IMRT	2,449	1,517	3,966
	直線加速器定位放射線治療	11	42	53
	全身照射	10	5	15
	密封小線源 外部照射	0	4	4
	内部照射	160	13	173
	温熱治療	0	0	0
	その他	37	58	95
治療計画 Radiotherapy Planning	治療計画	771	451	1,222
合計 Total		57,410	121,514	178,924

## (7) 薬剤部業務件数 Number of Pharmacist works

(平成28年度) (in 2016)

薬剤管理指導数 Pharmaceutical care			
患者数 Patients	5,431人	算定数 Calculation	7,519件
特定薬剤治療管理 TDM	測定数	解析数 Report	算定数 Calculation
取り扱い数	174件	8,231件	2,627件
調剤 Dispensation	枚数 Prescription	件数 Cases	剤数 Doses
入院処方箋 Inpatients	70,712枚	107,391件	892,634剤
院内外来処方箋	19,625枚	42,706件	1,020,902剤
院外処方箋	151,696枚	院外処方箋発行率 Rate	88.9%
注射剤調剤 Injections	枚数 Prescription	処方数	本数
入院注射処方箋	131,802枚	417,580件	735,977本
外来注射処方箋	42,974枚	75,376件	155,355本
注射剤混合調剤 Mixing of Injections	TPN 調剤	入院抗癌薬	外来抗癌薬
調剤数	2,845本	5,674件	19,695件
麻薬 Narcotic			
注射剤	31,102本	内服・外用剤件数	6,815件
伝票による薬品支給			
注射剤	736,620本	外用剤・消毒剤	117,711本
製剤			
一般製剤数	4,578件	無菌製剤数 Steril	6,709件
医薬品情報 DI			
質疑応答数 Q&A	865件	院内情報誌発行部数 Information Magazine	8,175部

## (8) 分娩件数及び出産児数 Number of Deliveries

(平成28年度) (in 2016)

区分 Classification	経膣分娩 Vaginal Deliveries	帝王切開 Cesarean Section	計 Total
単胎分娩 Single pregnancy	172 件	138 件	310 件
多胎分娩 Multiple pregnancy	3	15	18
計 Total	175	143	328

区分 Classification	出生児数 New borns	死産児数 Stillbirths	計 Total
成熟児 Mature babies	229 人	0 人	229 人
低出生体重児 Low birth weight babies	115	2	117
計 Total	344	2	346

## (9) 手術件数 Number of Surgical Operations

(平成28年度) (in 2016)

点数 Points	0 点 ↓ 999	1,000 点 ↓ 2,999	3,000 点 ↓ 4,999	5,000 点 ↓ 9,999	10,000 点 ↓ 14,999	15,000 点 ↓ 19,999	20,000 点 以上	合計 Total
件数 Number	87 件	581 件	859 件	742 件	1,653 件	778 件	4,554 件	9,254 件

## (10) 医療機関の承認・指定・届出等の状況 Legal Authorization of Medical Services

### 1. 病院開設承認等

区 分	承認年月日
医療法による病院開設承認	昭和18年 4月 1日

### 2. 法令による医療機関の指定等

区 分	指定等年月日
消防法による救急病院	昭和63年11月 1日
生活保護法による医療機関	昭和25年 9月20日
感染症予防法による医療機関（結核）	昭和28年 2月 1日
労働者災害補償保険法による医療機関	昭和30年 9月 1日
原爆被爆者援護法による医療機関（一般疾病）	昭和36年 2月17日
母子保健法による医療機関（妊娠中毒）	昭和54年 7月 1日
母子保健法による医療機関（妊婦乳児健康診査）	昭和60年 7月 1日
母子保健法による医療機関（養育医療）	昭和34年 9月25日
高齢者の医療の確保に関する法律による医療機関	昭和57年 8月17日
戦傷病者特別援護法による医療機関（療養給付）	昭和38年 8月 3日
戦傷病者特別援護法による医療機関（更生医療）	昭和38年 8月 3日
外国医師等の臨床修練に係る特例法による病院	昭和63年 3月29日
群馬県地域周産期母子医療センター	平成17年 6月 1日
障害者自立支援法による医療機関（育成医療・更生医療・精神通院医療）	平成18年 4月 1日
エイズ治療の中核拠点病院	平成19年 3月26日
都道府県肝疾患診療連携拠点病院	平成20年 3月31日
原爆被爆者援護法による医療機関（認定医療）	平成23年 1月15日
第一種感染症指定医療機関	平成23年 4月 1日
認知症疾患医療センター	平成22年 9月 1日
群馬県地域災害拠点病院	平成24年10月 1日
児童福祉法第19条の9第1項の規定による指定小児慢性特定疾病医療機関	平成27年 1月 1日
難病の患者に対する医療等に関する法律第14条第1項の規定による指定医療機関	平成27年 1月 1日
群馬県がん診療連携中核病院	平成28年 4月 1日
群馬県救命救急センター	平成28年 4月 1日

### 3. 健康保険法による各種基準の届出等

#### [1] 入院基本料

区 分	算定開始等の年月日
一般病棟7対1入院基本料	平成28年 9月 1日
精神病棟13対1入院基本料	平成27年 6月 1日

#### [2] 入院時食事療養の基準

区 分	算定開始等の年月日
入院時食事療養（I）	昭和33年10月 1日

#### ①厚生労働大臣の定める施設基準

##### a) 基本診療科の施設基準

(平成29年5月1日現在)

区 分	算定開始等の年月日
地域歯科診療支援病院歯科初診料	平成22年 4月 1日
歯科外来診療環境体制加算	平成20年 4月 1日
歯科診療特別対応連携加算	平成22年 4月 1日
超急性期脳卒中加算	平成20年 4月 1日
診療録管理体制加算1	平成26年 6月 1日
急性期看護補助体制加算	平成26年10月 1日
看護職員夜間配置加算	平成28年 9月 1日
看護補助加算	平成27年 8月 1日
療養環境加算	平成11年 4月 1日
重症者等療養環境特別加算	平成11年 4月 1日
無菌治療室管理加算1	平成24年 4月 1日

①厚生労働大臣の定める施設基準

a) 基本診療科の施設基準

(平成29年5月1日現在)

区 分	算定開始等の年月日
精神科身体合併症管理加算	平成20年 4月 1日
摂食障害入院医療管理加算	平成22年 4月 1日
栄養サポートチーム加算	平成22年 7月 1日
医療安全対策加算1	平成18年 9月 1日
感染防止対策加算1	平成27年 4月 1日
患者サポート体制充実加算	平成24年 5月 1日
褥瘡ハイリスク患者ケア加算	平成18年 4月 1日
ハイリスク妊婦管理加算	平成21年 4月 1日
ハイリスク分娩管理加算	平成21年 4月 1日
退院支援加算	平成24年 4月 1日
精神疾患診療体制加算	平成28年 5月 1日
呼吸ケアチーム加算	平成22年12月 1日
病棟薬剤業務実施加算1	平成24年 8月 1日
病棟薬剤業務実施加算2	平成28年 4月 1日
データ提出加算	平成24年10月 1日
地域歯科診療支援病院入院加算	平成20年 4月 1日
特定集中治療室管理料4	平成28年 9月 1日
脳卒中ケアユニット入院医療管理料	平成24年 5月 1日
新生児特定集中治療室管理料2	平成26年10月 1日
新生児治療回復室入院医療管理料	平成22年 9月 1日
一類感染症患者入院医療管理料	平成23年 5月 1日
小児入院医療管理料2	平成28年 4月 1日
短期滞在手術基本料1	平成19年 5月 1日
短期滞在手術基本料2	平成19年 4月 1日

b) 特掲診療科の施設基準

(平成29年5月1日現在)

区 分	算定開始等の年月日
ウイルス疾患指導料	平成18年 4月 1日
高度難聴指導管理料	平成28年10月 1日
喘息治療管理料	平成20年12月 1日
糖尿病合併症管理料	平成20年 4月 1日
がん性疼痛緩和指導管理料	平成22年 4月 1日
がん患者指導管理料1	平成22年 4月 1日
がん患者指導管理料2	平成26年 4月 1日
がん患者指導管理料3	平成27年 5月 1日
移植後患者指導管理料	平成28年 5月 1日
造血管細胞移植後患者指導管理料	平成26年11月 1日
糖尿病透析予防指導管理料	平成25年 4月 1日
外来放射線照射診療料	平成24年 4月 1日
ニコチン依存症管理料	平成28年 9月 1日
がん治療連携計画策定料	平成28年 5月 1日
肝炎インターフェロン治療計画料	平成22年 4月 1日
薬剤管理指導料	平成22年 6月 1日
医療機器安全管理料1	平成20年 4月 1日
医療機器安全管理料2	平成20年 9月 1日
医療機器安全管理料(歯科)	平成20年 9月 1日
歯科治療総合医療管理料	平成18年 4月 1日
在宅患者歯科治療総合医療管理料	平成22年 4月 1日
持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定	平成22年 4月 1日
HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	平成26年 4月 1日
検体検査管理加算(Ⅰ)	平成12年 4月 1日
検体検査管理加算(Ⅲ)	平成20年 4月 1日
検体検査管理加算(Ⅳ)	平成22年 4月 1日
国際標準検査管理加算	平成28年 4月 1日
遺伝カウンセリング加算	平成20年 4月 1日

(平成29年5月1日現在)

区 分	算定開始等の年月日
心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	平成12年 4月 1日
時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	平成24年 5月 1日
ヘッドアップティルト試験	平成24年 4月 1日
人工臓器検査、人工臓器療法	平成11年 4月 1日
長期継続頭蓋内脳波検査	平成12年 4月 1日
光トポグラフィ	平成26年 4月 1日
神経学的検査	平成20年 4月 1日
補聴器適合検査	平成12年 4月 1日
ロービジョン検査判断料	平成28年10月 1日
コンタクトレンズ検査料1	平成28年 8月 1日
小児食物アレルギー負荷検査	平成18年 4月 1日
内服・点滴誘発試験	平成22年 4月 1日
画像診断管理加算1	平成28年 4月 1日
ポジトロン断層撮影又はポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	平成28年 4月 1日
CT撮影及びMRI撮影	平成24年 4月 1日
冠動脈CT撮影加算	平成20年 4月 1日
心臓MRI撮影加算	平成20年 4月 1日
抗悪性腫瘍剤処方管理加算	平成22年 4月 1日
外来化学療法加算1	平成20年 4月 1日
無菌製剤処理料	平成20年 4月 1日
心大血管疾患リハビリテーション料(1)	平成24年 4月 1日
脳血管疾患等リハビリテーション料(1)	平成24年 4月 1日
運動器リハビリテーション料(1)	平成24年 4月 1日
呼吸器リハビリテーション料(1)	平成24年 4月 1日
がん患者リハビリテーション料	平成27年 6月 1日
リンパ浮腫複合的治療料	平成28年10月 1日
認知療法・認知行動療法2	平成24年 4月 1日
抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	平成24年 4月 1日
医療保護入院等診療料	平成16年 4月 1日
透析液水質確保加算2	平成24年 7月 1日
歯科技工加算	平成22年 4月 1日
皮膚悪性腫瘍切除術(悪性黒色腫センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)	平成22年 4月 1日
組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)	平成28年 4月 1日
骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	平成27年 7月 1日
脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術	平成12年 4月 1日
脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	平成12年 4月 1日
羊膜移植術	平成26年 4月 1日
緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	平成26年 4月 1日
網膜再建術	平成26年 4月 1日
人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	平成10年12月 1日
上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)	平成24年 4月 1日
内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)	平成26年 4月 1日
乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)	平成22年 4月 1日
乳腺悪性腫瘍手術(乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))	平成28年 4月 1日
グル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	平成28年 6月 1日
経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	平成25年 2月 1日
経皮的中隔心筋焼灼術	平成16年 4月 1日
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	平成10年 4月 1日
両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術	平成22年 1月 1日
植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極除去術	平成28年10月 1日
両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術	平成21年 3月 1日
大動脈バルーンポンピング法(IABP法)	平成10年 4月 1日
胆肝悪性腫瘍手術(臍頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)	平成28年 4月 1日

(平成29年5月1日現在)

区 分	算 定 開 始 等 の 年 月 日
腹腔鏡下肝切除術	平成28年 4月 1日
生体部分肝移植術	平成10年 5月 1日
腹腔鏡下臍体尾部腫瘍切除術	平成24年 4月 1日
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	平成24年 4月 1日
腎腫瘍凝固・焼灼術（冷凍凝固によるもの）	平成25年 4月 1日
同種死体腎移植術	平成20年 4月 1日
生体腎移植術	平成20年 4月 1日
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの。）	平成26年 8月 1日
医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術	平成27年 4月 1日
輸血管理料（Ⅰ）	平成26年 7月 1日
輸血適正使用可加算	平成26年10月 1日
貯血式自己血輸血管理体制加算	平成26年 4月 1日
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	平成24年 4月 1日
歯周組織再生誘導手術	平成20年 4月 1日
広範囲顎骨支持型装置埋入手術	平成24年 4月 1日
麻酔管理料（Ⅰ）	平成 8年 4月 1日
麻酔管理料（Ⅱ）	平成22年 4月 1日
放射線治療専任加算	平成12年 4月 1日
外来放射線治療加算	平成20年 4月 1日
高エネルギー放射線治療	平成14年 4月 1日
1回線量増加加算	平成26年 4月 1日
強度変調放射線治療（IMRT）	平成22年 2月 1日
画像誘導放射線治療加算（IGRT）	平成22年 4月 1日
体外照射呼吸性移動対策加算	平成24年 4月 1日
定位放射線治療	平成16年 4月 1日
定位放射線治療呼吸性移動対策加算	平成24年 4月 1日
粒子線治療	平成28年 4月 1日
粒子線治療適応判定加算	平成28年 4月 1日
粒子線治療医学管理加算	平成28年 4月 1日
画像誘導密封小線源治療加算	平成28年 4月 1日
病理診断管理加算2	平成24年 4月 1日
口腔病理診断管理加算2	平成26年 5月 1日
クラウン・ブリッジ維持管理料	平成 8年 4月 1日

②先進医療の届出

(平成29年5月1日現在)

	先進医療の名称	算 定 開 始 年 月 日
先進医療A	神経変性疾患の遺伝子診断	平成15年 9月 1日
	重粒子線治療	平成22年 6月 1日
	急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PCR法による骨髄微小残存病変(MRD)量の測定	平成29年 1月 1日
先進医療B	上皮性卵巣癌・卵管癌・腹膜原発癌に対するパクリタキセル毎週静脈内投与併用カルボプラチン3週毎腹腔内投与	平成23年 2月 1日
	術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用療法	平成24年 8月 1日
	パクリタキセル腹腔内投与及び静脈内投与並びにS-1内服併用療法	平成24年 9月 1日
	インターフェロンα皮下投与及びジドブジン経口投与の併用療法成人T細胞白血病リンパ腫（症候を有するくすぶり型又は予後不良因子を有さない慢性型のものに限る）	平成26年 3月 1日
	S-1内服投与、オキサリプラチン静脈内投与及びパクリタキセル腹腔内投与の併用療法	平成26年 7月 1日
	131I-MIBGを用いた内照射療法	平成28年 6月 1日
	重粒子線治療肝細胞がん（初発のものであって肝切除術、肝移植術、エタノールの局所注入、マイクロ波凝固法又はラジオ波焼灼療法による治療が困難であり、かつChild-Pugh分類による点数が6点未満のものに限る。）	平成28年 6月 1日
	重粒子線治療非小細胞肺がん（ステージがⅠ期であって、肺の末梢に位置するものであり、かつ肺切除術が困難なものに限る。）	平成29年 2月 1日
ゲムシタピン静脈内投与及び重粒子線治療の併用療法膵臓がん（遠隔転移しておらず、かつ、TMN分類がT4のものに限る。）	平成29年 3月 1日	
重粒子線治療前立腺がん（遠隔転移しておらず、D'Amico分類で高リスク群と診断されるものに限る。）	平成29年 4月 1日	

#### 4. 小児慢性特定疾病対策

区 分	指 定 等 年 月 日	区 分	指 定 等 年 月 日
悪性新生物	昭和47年 4月 1日	先天性代謝異常	昭和47年 8月 1日
慢性腎疾患	昭和47年 8月 1日	血液疾患	昭和47年 8月 1日
慢性呼吸器疾患	昭和47年 8月 1日	神経・筋疾患	平成 4年 1月 1日
慢性心疾患	昭和47年 8月 1日	慢性消化器疾患	平成17年 4月 1日
内分泌疾患	昭和47年 8月 1日	免疫疾患	平成27年 1月 1日
膠原病	昭和47年 8月 1日	染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群	平成27年 1月 1日
糖尿病	昭和47年 8月 1日	皮膚疾患群	平成27年 1月 1日

#### 5. 先天性血液凝固因子障害治療研究事業

区 分	指 定 等 年 月 日
先天性血液凝固因子欠乏症	昭和47年 8月 1日

#### 6. 特定疾患治療研究事業

区 分	指 定 等 年 月 日	区 分	指 定 等 年 月 日
スモン	昭和48年 4月 1日	プリオン病	平成 9年 1月 1日
難治性の肝炎のうち劇症肝炎	昭和51年10月 1日	重症多形滲出性紅斑（急性期）	平成21年10月 1日
重症急性膵炎	平成 3年 1月 1日		

難病小児慢性特定疾病については、P.37「2. 法令による医療機関の指定等」にありますように、指定医療機関として認定されております。

#### 7. インターフェロン治療費助成事業

区 分	指 定 等 年 月 日
肝炎インターフェロン治療	平成20年 4月 1日

## 1. 土地 Land

(平成29.5.1 現在)  
(As of May 1, 2017)

昭和地区 161,631㎡  
Showa Campus

## 2. 建物 Buildings

区 分 Classification		耐火構造 Fireproof	非耐火構造 Non-Fireproof	合 計 Total
医学部 School of Medicine	基礎医学棟 (Basic Medical Sciences)	9,633m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	9,633m <sup>2</sup>
	共用施設棟 (Common Building)	10,289		10,289(保健学科含む)
	臨床研究棟 (Clinical Medical Sciences)	13,079	77	13,156
	プロジェクト棟 (Project Building)	2,067		2,067
	生物資源センター(1) (Bioresource Center (1))	4,081		4,081
	生物資源センター(2) (Bioresource Center (2))	893		893
	R I 研究棟 (Radioisotope Research Building)	1,061		1,061
	基礎講義棟 (Basic Lecture Building)	1,150	65	1,215
	臨床講堂 (Lecture Building Clinical Medicine)	1,284		1,284
	学生食堂 (Welfare Facilities)	810	38	848
	刀城会館(記念会館) (Tojo Hall (Commemoration Hall))	790		790
	その他 (Others)	59	250	309
	計 (Total)	45,196	430	45,626
医学部保健学科 School of Health Science	中央棟 (Central Building)	2,685		2,685
	南棟 (South Building)	6,765		6,765
	西棟 (West Building)	2,981		2,981
	その他 (Others)		100	100
	計 (Total)	12,431	100	12,531
医学部附属病院 University Hospital	外来診療棟 (Outpatients Building)	12,523		12,523
	南病棟 (South Ward Building)	20,299		20,299
	北病棟 (North Ward Building)	21,740		21,740
	東棟 (East Building)	2,647		2,647
	中央診療棟 (Center Examination Building)	16,519		16,519
	診療棟 3 (Examination Building No.3)	3,020	16	3,036
	診療棟 2 (Examination Building No.2)	2,409		2,409
	診療棟 1 (Examination Building No.1)	1,533		1,533
	特別診療棟 (Special Examination Building)	628	44	672
	重粒子線医学センター (Heavy Ion Medical Center)	6,283		6,283
	看護師宿舎 (Residence for Nurses)	2,307		2,307
	院内保育所 (Nursery School)	314		314
	特高受電室 (Electric Transformer Room)	530		530
	中央機械室 (Power Supply Center)	3,336		3,336
	洗濯室 (Washing Room)		185	185
	立体駐車場 (Multi-level Car Parking Tower)		13,316	13,316
	その他(設備室等) (Others)	807	295	1,102
計 (Total)	94,895	13,856	108,751	
医学系共同施設 Joint Facilities for Medical	体育館 (Gymnasium)		1,245	1,245
	課外活動施設 (Facilities for Extracurricular Activities)	755		755
	物品庫 (Storage of Article)		20	20
	計 (Total)	755	1,265	2,020

## (昭和地区) Showa Campus



- |  |  |
|--|--|
| ① 医学部保健学科<br>School of Health Sciences                                     | ⑩ 特別診療棟<br>Special Examination Building                                  |
| ② 学生食堂<br>Welfare Facilities   | ⑪ 診療棟 1<br>Examination Building No. 1                                    |
| ③ 看護師宿舎<br>Residence for Nurses  | ⑫ 診療棟 2<br>Examination Building No. 2                                    |
| ④ 中央機械室<br>Power Supply Center   | ⑬ 診療棟 3<br>Examination Building No. 3                                    |
| ⑤ 生体調節研究所<br>Institute for Molecular and Cellular Regulation               | ⑭ 北病棟<br>North Ward, Building  |
| ⑥ R I 研究棟<br>Radioisotope Research Building                                | ⑮ 南病棟<br>South Ward, Building  |
| ⑦ 特高受電室<br>Electric Transformer Room                                       | ⑯ 外来診療棟<br>Outpatients Building  |
| ⑧ 生体情報ゲノムリソースセンター<br>Biosignal Genome Resource Center                      | ⑰ 課外活動施設, 体育館<br>Facilities for Extracurricular Activities,<br>Gymnasium |
| ⑨ 生物資源センター (1)<br>Bioresource Center (1)                                   | ⑱ プロジェクト棟・石井ホール<br>Project Building Ishii Hall                           |
| ⑩ 生物資源センター (2)<br>Bioresource Center (2)                                   | ⑲ 中央診療棟<br>Center Examination Building                                   |
| ⑪ 医学部 (臨床研究棟)・黒梅ホール<br>School of Medicine (Clinical Medicine) Kuroume Hall | ⑳ 立体駐車場<br>Multi-level Car Parking Tower                                 |
| ⑫ 医学部 (基礎医学棟)<br>School of Medicine (Basic Medicine)                       | ㉑ 重粒子線医学センター<br>Heavy Ion Medical Center                                 |
| ⑬ 基礎講義棟<br>Basic Lecture Building  | ㉒ 院内保育所<br>Nursery School  |
| ⑭ 刀城会館 (記念会館)<br>Tojo Hall (Commemoration Hall)                            | ㉓ アメニティモール<br>Amenity Mall   |
| ⑮ 総合情報メディアセンター<br>医学図書館<br>Medical Library                                 | ㉔ 東棟<br>East Building  |
| ⑯ 共用施設棟<br>Common Building   |  |
| ⑰ 臨床講堂<br>Lecture Building for Clinical Medicine                           |  |

(昭和地区) (Showa Campus)

医学系研究科 医学部 Graduate School of Medicine Faculty of Medicine	〒371-8511 前橋市昭和町三丁目39番22号 3-39-22, Showa-machi, Maebashi City, Gunma	電話 Telephone (代表)027 (220)7111
保健学研究科 Graduate School of Health Sciences	〒371-8514 前橋市昭和町三丁目39番22号 3-39-22, Showa-machi, Maebashi City, Gunma	
医学部附属病院 University Hospital	〒371-8511 前橋市昭和町三丁目39番15号 3-39-15, Showa-machi, Maebashi City, Gunma	

昭和地区

●JR両毛線前橋駅下車，北方へ4km，バスで約15分

Access to Showa Campus: Get off at the Maebashi Station in JR Ryomo Line, and takes 15 minutes by bus.

乗車場所	行き先案内表示	下車停留所	所要時間	備考
JR前橋駅 北口	全線「群大病院入口」で下車できます。	群大病院入口	約13分 徒歩6分	関越交通バス
	上記のうち、行先案内表示に「群大病院行」、「群大病院経由」とある場合は、群大病院内バスターミナルで下車してください。	群大病院	約15分	
	群馬総社駅行	群大病院	約15分	日本中央バス



## 病院の理念

### 大学病院としての使命を全うし、国民の健康と生活を守る。

“大学病院の役割である先進的な医療の実践・開発・教育を推進し、皆さんが安全で健康な生活がおくれることを目的とします。”

## 基本方針

#### 一、安全・納得・信頼の医療を提供する。

“十分な説明を行い、安全でかつ納得のいく治療法を皆さんと共に選択し、信頼の得られるチーム医療を提供します。”

#### 一、次代を担う人間性豊かな医療人を育成する。

“医療の知識とともに他者への思いやりを持ち、社会のニーズに対応できる人材を育成します。”

#### 一、明日の医療を創造し、国際社会に貢献する。

“先進的な医療や時代に即した医療を開発し、世界に向けて発信します。”

#### 一、医療連携を推進し、地域医療再生の拠点となる。

“地域の拠点病院として、他の病院や医院と連携し、円滑な医療の提供に努めます。”

“患者さんと家族の意思や価値観を尊重し、理念の実践に向けて持続的に業務を改善していきます。”

“職員の職場・労働環境に配慮して、職員が成長し能力を発揮できるように努めます。”

---

●発行	平成29年11月
Published	2017 November
●編集	群馬大学昭和地区事務部総務課
Edited by	General Affairs Division, Gunma University Showa Campus
●所在地	〒371-8511 前橋市昭和町三丁目39番22号
Location	3-39-22 Showa-machi, Maebashi City, Gunma
●TEL	027-220-7722 (広報係)
●FAX	027-220-7720

#### ホームページアドレス

大学院医学系研究科	<a href="http://www.med.gunma-u.ac.jp/">http://www.med.gunma-u.ac.jp/</a>
大学院保健学研究科	<a href="http://www.health.gunma-u.ac.jp/">http://www.health.gunma-u.ac.jp/</a>
医学部附属病院	<a href="http://hospital.med.gunma-u.ac.jp/">http://hospital.med.gunma-u.ac.jp/</a>

---